



慶應義塾中等部

若きは
ゆたかな
れ

中等部の歌	表紙裏
ある日の中等部・施設・ 生徒の作品	カラーページ
常に未来を問い続ける 教育とは	1
学校生活	2
教職員と生徒	5
教育課程	6
1年生の授業内容	7
学校行事	9

行事のようす	カラーページ
現職教員からのメッセージ	13
同窓会活動	23
生徒の作文から	24
刊行物	26
慶應義塾の目的	28
慶應義塾の歴史	30
募集のあらまし	32
Q & A	33
中等部記念の歌	裏表紙裏

中等部の歌

一、風にまろく

色のをゆけ

慶應の旗

いよいよはそい

若きは清く
あれ

二、海の反射は

三田を照す

独立の塔

ますます
あれ

若きはほが
あれ

折口信夫 作詞
芥川也寸志 作曲

三、またれりや

自尊の世代

この我を見よ

学にそそれり

若きはほが
あれ

四、今や自尊の

世代またり

慶應の旗

独立の塔

いよいよ照す

若きはゆた
あれ

広瀬裕之 書

中等部の歌について

1948年、「慶應義塾中等部の歌」が作詞・折口信夫、作曲・芥川也寸志によって作られ、同年9月28日に日比谷公会堂にて発表記念演奏会が開催されました。

折口 信夫（1882～1953）

元慶應義塾文学部教授。国文学者・民俗学者・歌人。民俗学を国文学的研究に取り入れ、民俗学的国文学を確立した。また釈迦空の筆名で歌人としても活躍。

芥川也寸志（1925～1989）

20世紀の日本を代表する作曲家・指揮者。1948年4月から49年12月まで中等部音楽科教諭。1948年度1年A組担任。

ある日の中部部



三色旗



始業式



基準服（3年生）



基準服（1・2年生）



休み時間（中庭）



理科の実験

施設



正門から見た校舎



ポプラ館



ポプラ館 CAV室



ポプラ館 音楽室



ポプラ館 家庭科室



FUTURE館



FUTURE館 教室C



体 育 館



体育館 アリーナ



体育館 中体育室



体育館 多目的コート



体育館 プール



大 教 室



普通教室



綱町グラウンド

生徒の作品



常に未来を問い続ける教育とは

慶應義塾中等部長 松本 守

慶應義塾は、1858年福澤諭吉が江戸築地に蘭学塾を開いたのが起源になります。福澤は幕末から明治にかけての激動する時代に、世界の中で日本が独立し、他国と渡り合っていくには、日本を支える人材を育て、一人一人が真に独立しなければならないと考えました。

中部は、1947年に三田に開校した男女共学の学校です。160年以上の歴史を持つ慶應義塾の中では比較的新しい学校になります。また慶應義塾の一貫教育校の一つです。

かつて日本が戦争をしていた時代がありました。その戦争が終わり、日本が新しく生まれ変わるために学校は何を教えるべきか。新しい世代をどのように育てるかが問われました。価値観が大きく変わる中で、創立当初の中部が掲げた理念は「自立した個人を育む、自由な」教育を行うことでした。これは今も中部が大事にしている理念の一つです。しかし、中部が考える「自由な教育」については時代に即した考え方を取り入れながら常に問い続ける必要があります。

たとえば、人から言われたことができるようになることも大切ですが、「あれをしなさい」「これはやってはいけません」と人に言われるまま自分の頭では考えなかったらどうでしょう。仮に正しく行動できたとしても、それは本当に自分が考えて行動してはいません。失敗してもいいから自分の頭で考えて行動してみることが尊いのだと思います。自分で考えてチャレンジすることが自由と結びついたとき、自分らしく行動できているといえるのではないのでしょうか。中部では、みなさんが当たり前だと思っていたり、身近なものであったりするところで、「自由」について考えてもらう場をたくさん創り出しています。中部生になったら3年間、自由が問われ続けているといってもいいかもしれません。それは、みなさんに、自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物になってほしいと願っているからです。みなさんも自由について真剣に考えてみませんか。

さて、日本では、幕末と戦後の2度にわたり激動する時代をむかえ、人々は価値観を大きく変えることを求められました。中部は2022年に創立75周年を迎えましたが、その少し前、大きな時代のうねりを経験しました。コロナ禍で全世界が閉ざされた時のことです。その渦中の2020年に中部はSDGs宣言をしました。

SDGsの掲げる理念は、持続可能な社会をめざすこと、だれ一人取り残さないことなどが挙げられます。コロナ禍では日本だけでなく世界が一つになり、人類が力を合わせなければ立ち向かえない課題に向き合いました。

SDGsを考えることは広い社会に向けて課題を見つけるアンテナを張り、問題を考え、解決に導くために行動しなければなりません。そのためには異なる価値観を持った人々と対話することが欠かせません。国や地域、文化によって人や言葉が異なるように、価値観も多様化しています。中部はSDGsを教育に落とし込んだ新しい教育に取り組み、将来世代を育てていく学校をめざしています。持続可能な未来を担う人を育てていくには、多様性のある学びの場が必要です。個性豊かな中部生がまさに多様性そのものであるように、そこに教職員も参加して共に時代に即した目標に向かって学んでいけるような学びの環境づくりをめざしています。

学 校 生 活

生徒には、自ら考え、自ら判断し、自ら行動して、その結果に責任を持てる自立した人物になってほしいと願っています。集団生活を行う上で、ある程度の規則を設定することはもちろん必要です。しかし、規則があるからやむを得ずを守るのではなく、生徒各人がなぜ好ましくないのかを「気品の泉源」「智徳の模範」の主旨に照らし合わせて考える習慣を養うため、「べからず」式の禁止事項を最小限にとどめ、自由の中に規律を求めることを目指しています。

〈中等部生活上守るべきこと・

知っておくべきこと〉

学校で生活するにあたっての申し合わせ事項を紹介しましょう。

服 装

[中等部生としてふさわしい、気品のある、端正なものであること]

1. 服装は自由であるが、バッジを常につけ、ジーンズなどは避ける。
2. アクセサリーなどはつけない。また、髪の色・脱色はしない。
3. 式および諸行事には、基準服を着用する。

人間関係

[相手の人格を尊重し、良好な関係を築いていこう。自分がされたくないことを、相手には絶対にしない]

1. 常に相手の立場を考え、思いやる気持ちを持とう。
2. お互いに協力し合い、困っている人がいたら手を差し伸べよう。
3. 身体的、精神的に相手を傷つける行為はしない。
4. 集団での無視、中傷、いやがらせはしない。
5. ネットやメールでのやりとりにも気を付ける。

校 内 — 登校時から下校時まで

[学校という社会生活のルールを守り、礼儀正しくふるまおう]

1. 午前7：30 以前には登校しない。

2. 中等部手帳・生徒証・ロッカーキーは、常に携帯する。
3. 必要以上の現金は持ってこない。
4. 授業に必要な電子機器は持ってこない。
5. 漫画やゲーム類を持ってこない。ただし碁・将棋は例外とする。
6. 菓子類は、持ってこない。
7. ケガや事故につながるような危険な行動をとらない。
8. バットやラケット、固いボールなどの危険なものでは遊ばない。
9. クラスボールは周囲に配慮して使う。蹴る、強く投げる、高く打ち上げることはしない。
10. 緊急事態の場合、すぐに教職員へ連絡する。大人の助けを必要とするとき、各HR 教室では「非常通報装置」(校内インターカム) が使用できる。
11. 中等部と綱町グラウンドの行き来には、必ず横断歩道を利用し、歩道を歩く。
12. 体育館では、赤ひもの運動靴を使用する。
13. 大声を出すなど、周辺住民の迷惑となるような行動は慎む。
14. エレベーターは原則使用しない。
15. iPad は利用規約に従って利用する。

校 外 — 登下校時および休日

[校外においても、中等部生らしい良識のある態度をとろう]

1. 登下校の途中に寄り道をしない。
2. 大学、女子高構内には立ち入らない。
3. 日曜・祭日などの休日は、原則として登校しない。

校 友 会

[校友会活動は、学業と並ぶものであり、積極的に参加しよう]

1. 校友会の入部・退部は、その校友会の部長と担任に書面で届け出る。
2. 校友会の活動は、一つの校友会について、平日週3 日以内とする。休日の活動については、各校友会の部長の判断により、必要に応じて行う。
3. 夏休み中の活動日数は、休暇日数の半分以上とする。
4. 試験前1 週間と試験中は、校友会活動をしない。

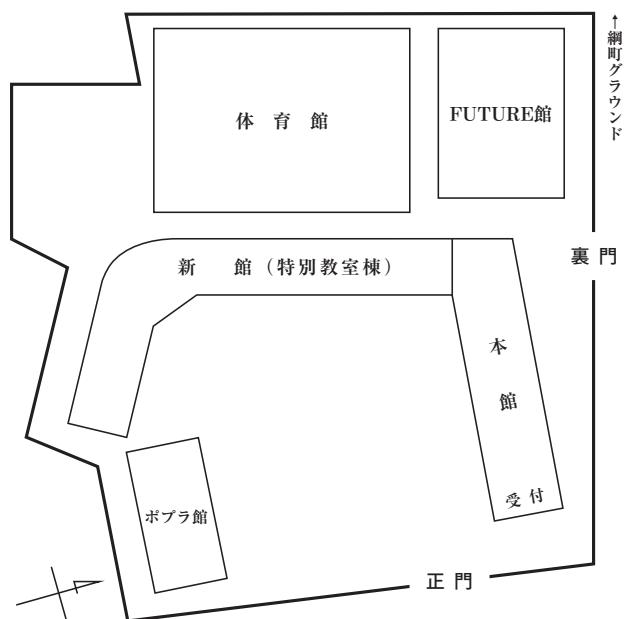
2024年度 校友会合宿一覧

学 芸 部	期 間	行 先	運 動 部	期 間	行 先
英 語 研 究 会	8/27～8/29	上総一ノ宮	弓 術 部	7/27～7/30	野辺山
カ メ ラ ク ラ ブ	8/26～8/27	富士	剣 道 部	7/25～7/27	勝浦
器 楽 部	3/28～3/31 9/1～9/5	斑尾高原 苗場	サ ッ カ ー 部	8/28～8/31	掛川
近 代 劇 研 究 会	9/4～9/5	鬼怒川温泉	山 岳 部	3/20～3/22 8/2～8/6	赤倉 白馬岳
コ ー ラ ス 部	8/7～8/10	苗場	女子ソフトボール部	8/19～8/22	山中湖
社 会 研 究 会	3/24～3/26 8/1～8/3 9/3～9/5 12/26～12/28	徳島・愛媛 大阪 兵庫・岡山 大阪・京都	水 泳 部	7/29～8/1	中等部
地 理 研 究 会	8/6～8/9 9/1～9/3 1/4～1/7	瀬戸内地方 秋田・青森 岡山県真庭	体操部（ダンス班）	4/3～4/5	中等部
図 書 の 会	9/4～9/5	鬼怒川温泉	卓 球 部	7/29～7/31	大網
美 術 部	3/25～3/26 8/26～8/27	千葉県房総半島 富士	テ ニ ス 部 (男 子) (女 子)	8/3～8/5 7/31～8/3	伊豆高原 水上高原
文 芸 部	7/22～7/24	花巻	馬 術 部	8/26～8/30	佐久市望月馬事公苑
マンドリンクラブ	8/7～8/10	苗場	バスケットボール部	3/22～3/26 8/28～9/1	福島県棚倉 北志賀竜王高原
歴 史 部	9/3～9/4	京都	バレーボール部 (女 子) (男 女)	8/2～8/4 3/22～3/24	中等部 中等部
			野 球 部	8/7～8/9	諏訪
			ラ グ ビ ー 部	7/31～8/3	菅平高原（長野）

〈施 設〉

都心にある学校ですので、敷地などの面では決して恵まれているとはいえませんが、施設を徐々に増やし、より良い学習環境を整えてきました。

普通教室のある本館と新館、特別教室棟などがあり、体育の授業や運動部の練習など屋外の運動は、校舎から少し離れた所にある綱町グラウンドを使用しています。グラウンドの脇には1993年に武道館（剣道場・柔道場・弓道場）が完成しました。また、1990年にポプラ館が、2000年にはFUTURE館が竣工し、視聴覚教育を中心として、さまざまなメディアを駆使した授業が行えるようになりました。さらに、アリーナ・中体育室・小体育室・セミナールーム・和室・多目的コート・プールを備えた新体育館が、2011年3月に竣工しました。



教職員と生徒

教員は、生徒に適切な指針を示し、その成長の道のりを見守るよう、努めています。お互いの信頼関係に基づいた上で、明るい人間関係を築くことを目指しています。

〈生 徒〉

中等部の1学年の生徒数は約240名です。各学年とも男女混合の6クラスで、1クラスの生徒数は約40名です。また、男女の比率はおおよそ3：2です。今年度4月の生徒数は以下の通り（カッコ内はそのうちの幼稚舎からの進学者）です。

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
男子	146(27)	142(32)	146(33)
女子	98(48)	96(47)	92(45)

〈高校への進学〉

3年の卒業時に中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。男子は高等学校（日吉と略、以下同様）、志木高等学校（志木）、ニューヨーク学院高等部（NY）のいずれか、女子は女子高等学校（女子）、ニューヨーク学院高等部のいずれかです。昨年度の卒業生

（236名在籍）の進学状況は以下の通りです。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部（藤沢）に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部への進学はできなくなりました。

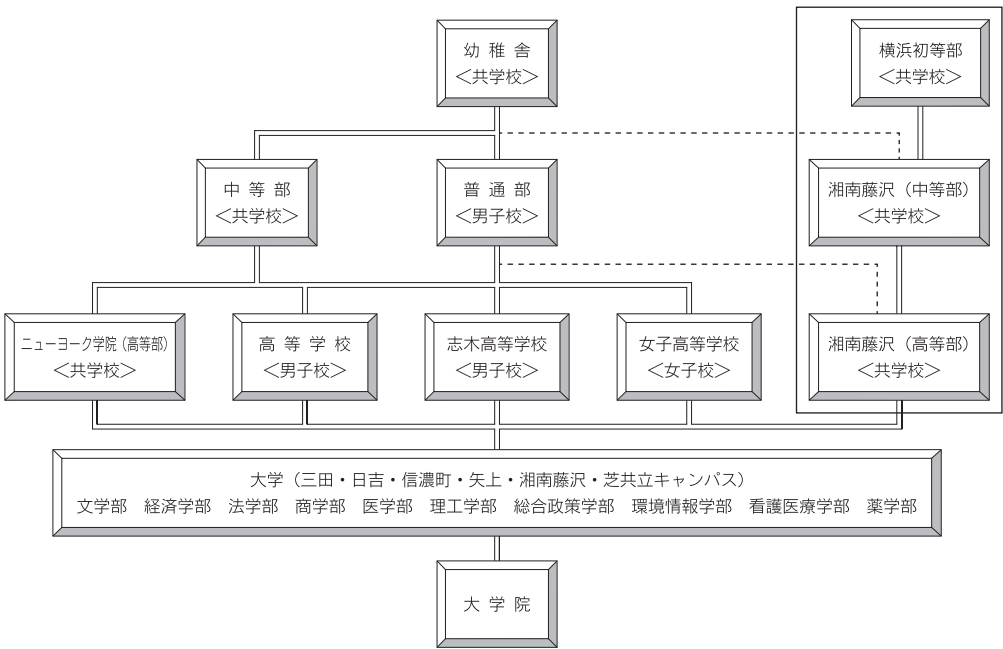
	日吉	志木	女子	NY	その他
男子	131	6	－	2	2
女子	－	－	92	2	1

〈教 職 員〉

今年度の教員数は、部長1名、主事1名、その他の専任教員40名、非常勤講師25名です。事務職員は事務長1名のほか14名、保健師1名、カウンセラー1名です。なお、校医は7名が交代で健康管理にあたっています。

教員の間には、教務、行事、図書、年鑑、メディア、施設などの諸委員会が設けられ、学校の運営と教育の充実のために努力しています。また、SDGs委員会が環境整備に取り組んでいます。

教員の学術研究も活発で、研究会や研修が常に行われており、教員による著書や学術論文、研究発表や講演も少なくありません。1995年3月には紀要『ウェリタース』第1号が発刊され、その後年1回刊行されています。



教育課程

生徒が将来円満な人格と豊かな人間性をもつ人になることを教育目標としていますから、学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。つまり、慶應義塾の大学を卒業し、社会の中核の人物になり得る素地を作るためには、いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を積み重ねることが必要で、それが自分の可能性の発見につながるのです。

〈授 業〉

授業時間は45分単位です。年間を通じて授業は午前8時10分に始まります。月曜日から金曜日までは6時間の授業があり、午後2時20分に終わります。土曜日は4時間の授業とホームルームがあり、午後0時30分に終わります。週6日制となっています。

1時限	8：10～8：55
2時限	9：05～9：50
3時限	10：10～10：55
4時限	11：05～11：50
昼休み	11：50～12：40
5時限	12：40～13：25
6時限	13：35～14：20

1週間の授業時数は、各学年とも35時間です。体育では男女別で授業を行いますが、それ以外の科目はすべて男女一緒です。また、英語Ⅱでは、各学年ともネイティブスピーカーと日本人の教員が一緒にひとつの教室で授業をするティームティーチングを実施しています。さらに英語Ⅲでは、生徒の習熟度を考慮した少人数クラス編成による授業が行われています。技術・家庭、国語演習、数学演習でも、クラスを2つに分けた少人数教育を行い、より一層一人一人に目が届く指導を心がけています。

学期は3期制で、学期ごとに各科目で成績評価が出されます。考査は年間5回の定期考査の他に、科目により平常考査が行われます。これは、定期考査と平常考査の両者に一長一短があるため、併用しているのです。また、レポートの提出やノート検査、課題や宿題の出来具合等、考査以外にも評価の対象になることがあります。

総合的な学習の時間は時間割に組み込まず、各教科や行事の中で総合的な学習の要素を取り入れた指導をしています。

週当り授業時数

		1年	2年	3年
国語	I	2	2	3
	II	2	2	2
	演習	1	1	—
	習字	1	—	—
社会	I	2	2	2
	II	—	—	2
	III	2	2	1
数学	I	3	3	2
	II	2	2	2
	演習	—	1	1
理科	I	2	2	2
	II	2	2	2
音楽		2	2	1
美術		2	1	2
保健体育	体育	2	2	2
	保健	1	1	—
技術・家庭		—	2	2
英語	I	3	2	2
	II	2	2	2
	III	1	1	1
選択		—	—	2
情報		1	1	—
道徳・特別活動		2	2	2
計		35	35	35

〈選択授業〉

3年生になると、週に1回、2時間連続して行われる「選択授業」を受講します。多彩な講座の中から自分の興味や関心に応じて選択しますから、より一層学習意欲を高めるきっかけになると思います。

選択授業では、ふだんの授業で取り扱わない内容や教員の専門分野を生かした内容なども受講できるように工夫されています。クラスの枠をこえたメンバーで受講しますから、生徒も教員も新たな環境で学びあうことを楽しみにしています。

2025年度 実施科目一覧

メディアの力を探る
ものづくり×SDGs
書道 de 卒業制作
推理小説を推理する
チャレンジ数学
マネーのIQを学び感動を設計する
東京今昔
SDGsのすゝめ
ミツバチの世界へ、ようこそ！
アンサンブルを楽しもう
造形ワークショップ
ハンディクラフト
英会話（advanced／intermediate）
フランス語入門
スペイン語入門
演習数学／理科演習

1年生の授業内容

1年生では、まず授業に慣れ、自分の勉強方法を確立することが大切です。毎日の授業をしっかりと聴いてノートを取り、予習・復習を心がけるよう指導しています。以下に、1年生の授業内容を簡単に紹介しましょう。

国 語

国語Ⅰでは、物語や小説、詩、短歌、俳句などの文学作品を中心に、随筆、説明文、論説文など、さまざまな形式の文章に触れながら、内容を正確に読み取る力を養います。文章をみんなで元気よく朗読することもありますし、「学問のすゝめ」の暗唱も行います。また、週1回の演習の時間では、ことばを用いて自分を表現することの楽しさを学びます。原稿用紙の使い方などの基礎的な学習から始まり、俳句・短歌の創作、ブックカバーの制作、ディベートなど、さまざまな表現活動を行います。

国語Ⅱでは、わたしたちがふだん使っている「ことば」というものについて深く考えるために、音声や文字、ことばのきまりを学びます。

習字では毛筆を使い、文字を正しく、美しく、速く書くために行書を中心に学びます。

社 会

社会Ⅰと社会Ⅲがあり、それぞれ世界地理と歴史を扱う科目です。

社会Ⅰでは、地図帳を用いて、世界の国々・世界の地形・世界の気候などを学習します。また、林間学校の準備学習として、目的地の地図を用いた授業も行います。

社会Ⅲでは、日本史の他に世界史も適宜扱い、1年生では、人類の発生や四大文明、ギリシャ・ローマの歴史なども学習します。

数 学

数学Ⅰでは代数分野を、数学Ⅱでは幾何分野を扱います。

数学Ⅰでは、基本的な計算を中心に、正負の数の計算から始めて、文字式の使い方、方程式・不等式の解法と文章題、関数の意味と比例・反比例などを扱います。

数学Ⅱでは図形の基礎的な用語の説明から始めて、作図と移動、空間図形などを学習します。時には論証を重視して扱うこともあります。

理 科

化学・物理を扱う理科Ⅰと、生物・地学を扱う理科Ⅱに分かれています。

理科Ⅰでは、水溶液や気体の性質、力のはたらき、光の進み方などを、実験を取り入れながら学習します。

理科Ⅱでは、植物と大地の変化について学習し、屋外での観察・スケッチや、顕微鏡での観察レポートなどの課題が出ます。

音 楽

まずは「慶應義塾塾歌」「中等部の歌」を歌えるように練習します。様々な歌を歌ったり、リズム遊びから楽譜の読み方の基礎を学習したり、「春」「越天楽」「魔王」「ブルタバ」などの鑑賞も取り入れています。アルトリコーダーの演奏も楽しめます。

美 術

3年生における油彩画制作の前段階として、1年生では、厚塗りが可能な不透明水彩絵の具（ガッシュ）の使い方を学ぶところから始めます。絵の具の使い方に慣れたら、大学構内に写生に行きます。また、デザイン、木版画や陶芸も経験します。

保健体育

保健の授業では、最初に健康とはどういう

ことなのかを考えます。体のしくみを初歩的に学び、さらに体の発育・発達について、また運動することで体のはたらきがどのように変化するかなども学習します。

体育の授業では、サッカー、ソフトボール、水泳、バレーボール、バスケットボール、剣道、持久走などを行います。発育、運動能力について個人差はありますが、中学生期は体の発育・発達の面で大切な時期です。運動の得意、不得意に関わらず、まじめに努力することが大切です。

情 報

コンピュータの操作などの実践的な学習活動を通じて、情報を適切に処理して日常生活や社会生活において活用できる能力を身につけることを目標としています。

文字の入力やソフトウェアの活用、データの整理などといった基本的な操作や、ネットワークに接続された本校のコンピュータシステムの活用について学習していきます。

特にコンピュータネットワークを利用する上でのルールやマナーについては、油断をせず、しっかりと学習することが大切です。

英 語

アルファベットの確認から始めて、一年間で英語で自己紹介や身のまわりのことが表現できるようにします。常に外国と日本の文化の相違について意識しながら、なるべく日常よく使う単語やフレーズを中心に学習していきます。英語Ⅰでは問題集を活用し、基本的な文法を学び、英語Ⅱではネイティブスピーカーとのティームティーチングを活用し、英語Ⅰで学んだことを実践的に運用します。英語Ⅲは2クラス以上に分割します。少人数制を生かし、ローマ字や辞書の使い方、歌や音読、文法の復習など英語Ⅰ、Ⅱを補うきめ細かい指導をしています。

学校行事

毎日の授業以外にも大切なことはたくさんあります。友達と和を深めたり、一緒に目標に向かって頑張ったりしながら、かけがえない思い出をつくりあげていく、それが中等部の学校行事です。

例年の学校行事について紹介します。

新入生歓迎会 (4月)

2・3年生全員が新入生を歓迎し、あわせて校友会の各部の内容の紹介をします。例年のプログラムは次の通りです。

- | | |
|-----|---|
| 第1部 | 1. 開会宣言
2. 中等部の歌
3. 生徒会委員長挨拶
4. 新スタッフ・局員の紹介
5. 生徒会機構の説明 |
| 第2部 | 学芸部の紹介 |
| 第3部 | 運動部の紹介 |
| 第4部 | 1. 新入生へのプレゼント
2. 新入生へのインタビュー
3. 閉会宣言 |

健康診断 (4月)

身長・体重などの計測や、視力・聴力などの検診を細かく行います。

遠足 (4月)

学年ごとに、近郊への遠足を行います。入学以来、緊張していた新入生にとっては、担任とのふれ合いや、クラスメイトと仲良くなるよい機会になっています。今年度の各学年の行き先は次の通りで、昨年度の1年生の感想を載せておきます。

1年生……昭和の森公園

2年生……片瀬江ノ島

3年生……富士三湖台・紅葉台

桜舞うなか期待と不安を抱きながら入学してから2週間たった、4月22日に私達1年生は葛西臨海水族園に行きました。天気は残念ながら雨で昭和の森公園にいけませんでした、とても楽しかったです。

朝の7時45分に各教室に集まりバスに乗りました。まだ初めて会ってから2週間しかたっていなかった、どうなるか不安でしたが近くの人たちと話をしたり、みんなでカラオケをしたりととても盛り上がり楽しめました。

水族館の中で1番心に残ったのは、大水槽のマグロの群れです。迫力満点で、自分が海に潜っているような気分になりました。帰りのバスでは、クイズを旅行委員が出してくれたので、クラスの人について知ることができました。

学校に帰ってくると雨がやんでいた、中庭でクラス対抗レクリエーションをしました。ボール送りやナイスタオルリレーでは、クラスの人たちと一致団結することができました。

今回の遠足でこれからの中等部生活への期待がとても高まり、最高の思い出になりました。これからクラスの人たちとさらに仲を深めたいと思います。

(1D ○○○○)

慶早戦応援 (5月または6月)

春季の東京六大学野球リーグ戦の慶早戦の応援に行きます。1年生は全員参加します。

校内大会 (5月・10月)

学年ごとにクラス対抗で球技などを行い、全生徒が参加します。例年行われる種目は次の通りです。

5月	ソフトボール	(各学年男子)
	バスケットボール	(各学年)
	ドッジボール	(各学年)
10月	サッカー	(各学年男子)
	バレーボール	(各学年)
	綱引き	(各学年)

古典芸能鑑賞会 (6月)

毎年、古典芸能に関する演劇の鑑賞会を実施しています。国立劇場などへ行き、本物の舞台を観る貴重な体験もします。

林間学校 (7月)

1学期の最後に、各学年で全員参加の林間学校が行われます。事前に図書室やインターネットなどで目的地について調べておき、現地で地形・地誌・動植物・歴史などに触れ、実体験を通じて学習します。夏休みにその結果をまとめ、2学期の展覧会の際に発表します。今年度の林間学校は、1年生 斑尾、2年生 嬭恋、3年生 蓼科を目的地として実施する予定です。昨年度、斑尾に行った1年生の感想を紹介します。

3日目

当初は登山する予定でしたが、あいにくの雨だったため、戸隠神社に行くことになりました。戸隠神社は古事記でも有名な「天の岩戸開き」に功績があった神々を祀っている神社です。私は午前中に奥社、午後に中社に行きました。神社入り口から1時間ほど歩き、奥社に到着し、お賽銭をしました。午後は中社に行き学業成就など

のお守りを買いました。ホテルに戻り入浴と夕食を済ませたあと、全体レクリエーションをしました。中部部にまつわるクイズや先生方による怪談話のほか、「中部部の歌」・「塾歌」を斉唱しました。初めての全体レクリエーションで、とても楽しかったです。

4日目

いよいよ林間学校最終日となりました。朝食後、3日間お世話になったホテルを出発し、善光寺に到着しました。私は本堂、経蔵、山門、仲見世の順に回りました。本堂では、真っ暗な回廊を歩く戒壇巡りをしました。想像していた以上に暗く、少し怖かったです。次に訪れた経蔵では、経典が収められている輪蔵をみんなで回しました。山門でクラス写真を撮ったあと、仲見世に行きました。仲見世にはたくさんのお店があり、買い物をしているとあっという間に時間が過ぎてしまいました。バスに戻って昼食をとったあと、東京へ戻りました。池袋駅で解散し、林間学校は終了しました。

今回の林間学校は初めての宿泊行事で、友人の新しい一面に触れられ、より仲を深めることができたとともに、都会にはない大自然に触れることができました。今回学んだことを活かし、より有意義な中部部生活を過ごしていきたいです。

(1F △△△△)

BLS講習会 (7月)

新入生を対象に、専門の指導者による一次救命処置(Basic Life Support)とAED作動訓練を行います。救急手当の手順を学ぶと共に、大切な人・命を救うため、勇気を持って一刻も早い対応ができるよう知識と技術を習得します。

保護者会

年に4・5回、年度始め、中間考査後や学期末に行います。担任と保護者が生徒の成績や生活などについて話し合います。まだ不安のある1年生の1学期や進学をひかえた3年生の2学期は、時間をかけて行います。

校友会の合宿・旅行（長期休暇中）

夏休みを中心に、各校友会で、練習や試合の他に2泊から5泊の合宿・旅行が行われています。行き先は各校友会により異なります。

国際交流プログラム

希望者（多数の場合は選抜あり）を対象とした多様なプログラムを行っています。いずれのプログラムも、同年代の現地校生と中等部生が「一対一」の人数比で、英語を使って協働生活や学校生活を送ることができます。

ホームステイを受け入れるプログラムでは、パートナーの生徒のみならず、受け入れるクラス全員にとって貴重な国際交流の機会となっています。

1 年 次	冬期克蘭フォード日本語研修受け入れ（1月 12名） 英国克蘭フォード校の生徒をホームステイで受け入れ、共に中等部の授業に出る
2 年 次	春期英国研修（3月 約20名） 英国ホカリル校生宅でホームステイをし、共にホカリル校の授業に参加
3 年 次	イオラニ研修（6月・8月 8～10名） 6月：米国ハワイ州イオラニ校の生徒をホームステイで受け入れ、共に中等部の授業に出る 8月：6月に受け入れた生徒宅（ハワイ）でホームステイ、共にイオラニ校の授業に参加
	夏期英国研修（8月 20名） 英国カウティ校・克蘭フォード校の生徒と共に宿泊、アクティビティや周辺地域探訪を行う
	秋期ホカリル日本語研修受け入れ（10月 約20名） 英国ホカリル校の生徒をホームステイで受け入れ、共に中等部の授業に出る

運動会（10月）

大学の日吉キャンパスの陸上競技場にて、陸上種目・団体競技などをクラス対抗で行います。昨年度のプログラムは次の通りです。

1. 開 会 式 （全 員）
2. 徒 競 走 （3年男子全員）
3. 3 人 4 脚 （2年男女）
4. ABCDEF 対抗リレー （各学年）
5. タイムレース① （各学年）
6. 満 腹 競 走 （3年男女）
7. 陣取り綱引き （女子全員）
8. 徒 競 走 （1年男子全員）
9. 借 物 競 走 （各学年男女）
10. 各部対抗リレー （運動部・学芸部）
11. フォークダンス （全 員）
12. 徒 競 走 （2年男子全員）
13. レディーファースト （1年男女）
14. タイムレース② （各学年）
15. 早かご競走 （3年男女）
16. 徒 競 走 （女子全員）
17. 騎 馬 戦 （男子全員）
18. クラス対抗リレー （各学年）
19. 閉 会 式 （全 員）

展 覧 会 （11月）

校友会の各学芸部が研究成果を発表するほか、学年の部屋では林間学校の学習結果の発表や個人作品の出品もあります。また、運動部も発表や招待試合を行っています。展示は20数室に及びます。

この展覧会には、翌年中等部を受験しようと考えている小学生やその保護者の方が多数訪れ、学校と生徒を直接見て知ることができるよい機会となっています。今年度の展覧会は11月8日（土）12:00～16:30、9日（日）9:00～16:00に開催されます。

なお、ポスター・パンフレットの表紙は、毎年生徒の作品から選ばれます。

音楽会 (12月)

校外の施設を借りて、クラスごとに音楽の授業の成果を発表します。全員が出演者となり、舞台に立ちます。

なお、3年生の曲は例年、各クラスの生徒による創作曲です。

生徒の感想を紹介します。

3年生にとっては最後の音楽会。クラスの音楽会委員となった今回は、いつもとは違う場所から見た音楽会となった。委員が待機するステージ裏から見たみんなの姿は正面から見た姿とはまた違い、緊張しながらも頑張っている後ろ姿は同年代ながらも頼もしく見えた。

出番を目の前にした次のクラスが暗いステージを覗き深呼吸をする。コツコツと革靴の音がホールに響きピタッと止まる。私はスイッチを上げ、ライトはゆっくりと生徒たちを照らす。クラスの演奏が終わりたくさんの拍手を浴びる。私はライトをゆっくり落とす。

どのクラスもリハーサルよりよい演奏で出番を終え、満足した表情で舞台から降りていくみんな。演奏前よりも一回り大きな背中に見えた。

今回の音楽会は私の中で一番達成感があり、思い出に残るものとなった。あの緊張感と楽しさは間違いなく私の一生の宝物だ。

(3F □□□□)

生徒会総会 (12月)

全生徒が一堂に会して、生徒会事務局からの年次報告を確認したり、中等部生活をよりよくするために意見を交換したりします。

昨年度のプログラムを紹介します。

第1部

1. 開会宣言
2. 生徒会事務局活動報告・委員会活動報告ならびに質疑応答
3. 新生徒会委員長の所信表明演説
4. 新生徒会委員長に対する方針上の代表質問

第2部

1. 生徒会総会実行委員会活動報告ならびに質疑応答
2. 討論に関する諸注意

第3部

1. 議題及び動議に対する質疑応答・討論採決

第4部

1. 閉会宣言
2. 講評

キャリア講座 (1月)

社会のさまざまな分野・業界で活躍している卒業生を10人ほど招いて講座を開き、その中から生徒が自分の興味・関心に合わせて2講座を選び、お話を聞きます。生徒会総会の議決によって実現した行事です。

見学 (3月)

1・2年生は、社会・理科の授業の一環として、見学を行っています。今までの見学場所は、工場・ゴミ処理施設・大学・研究所・博物館・歴史散策などです。

卒業旅行 (3月)

3年生は、卒業する前に九州へ4泊5日の旅行をします。福岡の太宰府や福澤先生ゆかりの大分県中津をはじめとして、長崎で平和学習を行うなど九州北部を巡ります。

行事のようす



入学式



大学構内見学（旧図書館にて）



健康診断



遠足（昭和の森公園）



新入生歓迎会



慶早戦応援



海外研修旅行（春・英国）



校内大会（ソフトボール）



古典芸能鑑賞会



避難訓練



Basic Life Support（BLS）訓練



林間学校（長野県・斑尾）



海外研修旅行（夏・ハワイ）



海外研修旅行（夏・英国）



運 動 会



校内大会（バレーボール）



展 覧 会



生徒会総会



ホカ Ril 校日本語研修受け入れ



音 楽 会



見学（しょうゆ工場）



「Improvised English Comedy」鑑賞会



卒業旅行（熊本）



卒業旅行（長崎）

現職教員からのメッセージ

国語科

私たちの母語である日本語のすばらしさとは何だろうか、自分の力でそれを発見できるようになるにはどうしたらよいのだろうか、そのことを私たち国語科はつねに問い続けています。それはいいかえれば日本語をいかに味わうことができるか、日本語でどう伝えることができるかということなのかもしれません。

一年生の授業では「ことば」とは何かということからはじめます。「ことば」は私たちの生活になくてはならないものですが、当たり前すぎてだれも深く考えたことはないと思います。もし「ことば」がなかったらと設定して、そのことを考える授業をしています。みなさんはどう考えますか。

「ことば」についての知識ができたところで、身近なことばである日本語の観察をはじめます。「ことば」は音声によるものと文字によるものに分けられます。この二つをきちんと区別するのはじつはとても難しいことなのです。ですから日本語の音声と文字の関係について改めて考えてみるようにしています。わたしたちが話している日本語の音声の種類はいくつあるのか、それを書き表す文字はいくつあるのか。「ことば」についての当たり前をよく考えていくと、これらを説明してくれるありがたい言葉、つまり学問の世界の言葉がみえてくるようになります。授業ではこうした出会いを大切にしています。

さらに音声、文字から発展した古典芸能の舞台にも接してもらおう機会も作っています。能、狂言、歌舞伎、文楽、落語といった古典芸能は、日本語で読み継がれ聞き継がれてきた物語と関わりながら育ってきた文化です。

芸としてみがき上げられた日本語の世界にふれることは、日ごろの学びを一層深いものにしてくれます。

古典の名文を声に出して暗唱することもあります。名文と呼ばれるものの中には昔の人びとの研ぎ澄まされた感覚と豊かな感性が宿っています。みんなの前で声に出して暗唱するのは簡単ではありませんが、仲間の見守る中で堂々と暗唱できた時の達成感は格別です。将来、人前で話す機会の多くなる中等部の卒業生にとっては貴重な経験と練習になるでしょう。

中等部の授業は教科書だけでなくオリジナルの教材をまじえて展開されます。ですからノートの作り方にも工夫が試されます。ノートがそのまま教科書代わりになることもあるからです。授業を聞きながら、その場でノートをまとめることは基本的なことなのですが簡単ではありません。教員が板書したことをただまとめるのではなく、聞いた内容をまず頭の中で整理して、自分で必要だと感じたことは自分の言葉を付けたしながらまとめてみるとよいでしょう。このやり方ができるようになれば、「鬼に金棒」でどんな教科でも役立つことうけあいです。

このような取り組みがみなさんの言葉の力や日本の文化に対する興味関心を育み、何をどう伝えるのかという表現力も身につけていくのだと考えています。



授業風景

社会科

みなさんは学校で「話し合い」をすることがよくありますね。「話し合い」というと学級会や児童会のことを思いうかべる人が多いと思いますが、中等部の社会科では本格的な話し合い、「ディベート（討論）」をおこなう授業があります。

ディベートとは、あるテーマについて賛成派と反対派の2チームに分かれて討論するというものです。発言する順番や制限時間などルールが決められていて、両チームは事前に作戦原稿^{げんこう}を準備します。そして、ディベートに参加しない人たちがどちらの意見がより説得力があるかを判定して勝敗を決めます。

なお、テーマについて賛成・反対のどちらのチームで討論するかは自分では決められず、くじなどで決めます。本当は賛成派なのに、反対派として討論することもあります。勝敗にこだわらず、あくまでも、話し合いの技術をみがくことを目的にディベートをします。

また、テーマについて、最初、知識が全く無くても心配する必要はありません。調べていくうちに「相手はこういう質問をしてくるかもしれない」とか、逆に「こういう質問をすれば相手はおどろくんじゃないかな」などと次から次に調べたいことが出てきて、気が付いたらそのテーマについて、自分なりの意見を持っているようになります。

実際に授業では次のようなテーマを取り上げました。

- ・サマータイム制度を導入すべきかどうか。
- ・東京から首都を移転すべきかどうか。
- ・クローン技術は禁止すべきかどうか。
- ・夫婦別姓^{べっせい}は認めるべきかどうか。
- ・死刑制度^{はいし}は廃止すべきかどうか。
- ・脳死は人の死として認めるべきかどうか。
- ・安楽死は認めるべきかどうか。
- ・核兵器^{かく}は廃止すべきかどうか。

みなさんは、これらのテーマについてどのような考えや意見をもっていますか。何だか

ディベートをしたくなってきましたか。

一生懸命^{けんめい}調べたことや自分の意見を、大勢の前で、しかも自分の言葉で話すというのはとても大変なことです。しかし、その過程を通じて得られることは実にたくさんあります。

ディベート終了後におこなったアンケートにはこんな感想が書いてありました。

- ・みんなの個性が発揮^{はつき}されていて、聞いて面白かったです。
- ・ディベートをやったことで、友達とのきずながいっそう深まりました。
- ・自分がこんなに話し好きだとは思いませんでした。良い経験ができました。
- ・インターネットで調べたり、作戦会議を開いたりして、とてもやりがいがありました。満足しています。でも、やっぱり勝ちたかったです。

みなさんも、ディベートを通じて、自分や友達の意外な一面を発見できるかもしれませんね。

数学科

ある3つのクラスで同じテストをしたとしましょう。3クラスとも人数は10人いて、平均点は50点です。それだけを聞くと、3クラスには同じような人たちがいると思われるかもしれませんが、3クラスには全く違^{ちが}う人たちがいる可能性もあるのです。

下の表を見てみましょう。

出席番号	1組	2組	3組
1	50	5	0
2	50	26	0
3	50	36	0
4	50	43	0
5	50	46	0
6	50	54	100
7	50	57	100
8	50	64	100
9	50	74	100
10	50	95	100
平均	50	50	50

クラスごとに全く違う特徴が出てきていますね。もちろん、これは説明用に作られたものですから、実際にこんなクラスがあるかどうかは分かりません。しかし、「平均点」というものだけでは説明が足りない場合もあることは分かっているかと思いますが。

では、また別の場合を考えてみましょう。A,Bの2つの小学校における一月のお小遣いを考えます。A小学校のお小遣いの平均は550円、B小学校のお小遣いの平均は1090円です。では、B小学校の子供達はA小学校に比べてみんな裕福なのでしょうか？ 答えは否です。「平均」というといかにもグループの傾向をしっかりと表している数量のようですが、落とし穴も意外に多いです。

その1つの例が「外れ値」という存在です。下の例を見てみましょう。

出席番号	A小学校	B小学校
1	100	100
2	200	100
3	300	100
4	400	100
5	500	100
6	600	100
7	700	100
8	800	100
9	900	100
10	1000	10000
平均	550	1090

A小学校では平均よりも多くのお小遣いをもらっている人が5人、平均よりも少ない人も5人です。一方、B小学校では平均よりも多くのお小遣いをもらっている人は1人しかいません。なぜそんな現象が起こるのかというと、B小学校の10番目の子が一人だけものすごく多くお小遣いをもらっているからです。このように他のデータとはかけ離れた値のことを外れ値といい、平均は外れ値の影響を非常に受けやすいのです。

これらを踏まえると、今まで当たり前のよ

うに使っていた「平均」という考え方ではうまく説明できない場面も多く存在することが分かっているかと思いますが。そのため、「平均」以外にもグループの傾向を表現する考え方は数多く存在します。「代表値」と呼ばれるこれらをうまく使いながら、世の中の様々な出来事を数字を使って説明していくことも中学校では勉強していきます。これをすれば絶対に答えが求まる、というものではないので、数学らしくないと思われるかもしれませんが、一緒に勉強してみませんか？

理 科

『理科』と聞くと、どんな印象を持ちますか？ 理科が好きな人もいれば、なんだか難しくて苦手だと思ってしまう人もいるかもしれません。けれども、極端なことを言ってしまうと、『身の周りで起こることについて考える』だけでも、理科を学ぶことができます。

たとえば、『ソーセージをフライパンで焼く』ことについて考えてみましょう。油をひいたフライパンにソーセージを乗せて火にかけると、美味しそうな焼き色をつけてソーセージを温めることができます。けれども、考えてみれば火にかけているのはソーセージではなくフライパンですよ。どうして、フライパンを火にかけているだけで、フライパンの上のソーセージを温めることができるのでしょうか？ 「そんなの当たり前のことじゃないか！」と思うかもしれませんが、熱に“物質同士が触れた部分で伝わる”という性質があるからこそ、ソーセージを焼くことができるのです。では、熱はどうして物質同士が触れた面で伝わるのでしょうか？

すべての物質は、ものすごく小さな粒が集まってできています。ソーセージも、フライパンも、人間も、みんな小さな粒が集まってできています。物質が熱を持っているというのは、この小さな粒がぶるぶると振動している状態です。フライパンを火にかけると、

フライパンを構成している小さな粒たちの振動が激しくなってきます。では、そのフライパンの上にソーセージを置くとどうなるでしょうか。激しく振動するフライパンの粒たちは、ソーセージを構成するあまり振動していない粒たちにぶつかります。そうすると、ソーセージの粒たちはさかんに振動するようになります。丁度、止まっているビリヤードの球に他の球を打ちこんだときのように、動いている粒たちのエネルギーによって止まっている粒たちが動き出すのです。“熱”というのは、物質を構成するものすごく小さな粒たちの振動の激しさのことで、この粒同士がぶつかることで伝わっていくのです。このように考えると、物質同士が触れ合っている部分で熱が伝わるのは当然ですね。

理科という教科の内容は、私たちの生活の中に『当たり前』という名前がたくさん潜んでいます。「野菜を切るときに使う包丁は、どうして刃の部分が薄く作られているのだろうか?」「コーヒーと牛乳は簡単に混ぜることができるのに、カフェオレからコーヒーだけを取り出すことはどうしてできないのだろうか?」当たり前だと思っていることでも、その現象と理科を結びつけると、今まで見ていなかった世界の扉を開くことができるかもしれません。中等部の理科では、このような『当たりのこと』を教材にして、様々な現象について考えていく機会があります。また、授業中に行う実験を通して得られた結果をもとに、学習した知識を使って考察することにも挑戦します。世紀の大発明だって、誰もが当たり前だと思っていたことから生まれてきたものもたくさんあるのです。誰もが当たり前だと思う現象の中に、あなただけの大発見があるかもしれません!

美術科

1年生の1学期。最初の授業では、「ガッシュ」というプロの画家が使う本格的な絵の

具の使い方を習います。ガッシュは不透明水彩絵の具とも呼ばれ、適度な濃度で塗れば、下地が透けて見えないので、厚塗りや重ね塗りを行うことができる絵の具です。この絵の具になれておくと、3年生になった時に油絵の具をより早く使いこなせるようになります。ガッシュの特性を生かすには、水で薄めすぎずに溶くことが重要なのですが、初めはこれがなかなか上手にできません。ガッシュは、水の量を少なめに溶かれないときれいに発色しません。しょう油の濃さではなく、「とんかつソースのドロドロした感じに」と説明すると皆理解してくれます。

さて、皆さんは、絵の具が何からできているか考えたことはありますか。あまりにも簡単に手に入るので、考えたことなど無いのではないのでしょうか。水彩絵の具も油絵の具もアクリル絵の具もそうなのですが、昔からほとんどの場合、絵の具の素となっているのは、顔料という色の付いた粉なのです。この粉は、元々鉱物や土から作られました。たとえば(19世紀以降は人工的に合成されています)ウルトラマリンという顔料は、ラピスラズリという青い宝石を砕いた粉からつくられていたので、大変貴重なものでした。また赤茶色をしたバーント・シェンナーやライト・レッドといった顔料は赤土からできていますが、化学的には赤錆と同じ成分です。神社や仏閣の塗装に使われてきた弁柄もこれと同じものです。しかし、これら顔料は水と混ぜるだけでは絵の具にはなりません。顔料と水以外の何かを混ぜないとチューブに入れて使えないし、紙にも絵の具が定着しません。そうです、絵の具には顔料を紙にくっつける接着剤が必要なのです。皆さんはアラビア糊(アラビアゴム)という糊を知っていますか。紙工作などで使ったことがある人がいるかもしれません。昔は切手の裏糊にも使われていました。実はこれと同じものが、水彩絵の具のチューブには入っているのです。同じように油絵の具は顔料と亜麻仁油や紅花油などの乾く性質

をもった油で練り上げられています。またアクリル絵の具はアラビアゴムの代わりに合成樹脂（木工ボンドのようなもの）で練り上げたものなのです。さて絵の具の話が終わったら、色の勉強を始めます。色には暖かい感じのする色や冷たい感じのする色があることや、三原色（赤、青、黄）をそれぞれ2色ずつ混ぜると、中間色（紫、緑、橙）ができることを学びます。色だけで喜怒哀楽を表現してみることもします。これらの授業が終わったら準備万端です。一学期の後半は大学に数回写生に行き、有名な旧図書館などを描きます。



大学にて

保健体育科

【保健】

保健では健康への意識をより高めていくことを目指しています。教科書以外にも、日頃テレビや新聞で話題になっている健康に関する問題や、現代の風潮を話題にして考えていく学習なども行っています。

また、1年生の授業では「BLS教育」を行っていて、胸骨圧迫やAED（自動体外式除細動器）を体験してもらい、心肺蘇生法を学習してもらいます。

体の事だけでなく、心の働きについても学習していきます。自分の感情や悩みなどに対してどのように向き合えば良いのかを学習していきます。また、身近な環境問題から地球規模で起こっている環境問題まで幅広く学習していきます。

【体育実技】

体育実技では、中学生の発達段階・能力に合わせた体力形成を目的としています。整列から始まり、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、サッカーなどの集団スポーツや、持久走や水泳などの個人スポーツなど、様々な種目でたっぷり汗をかき、道具の片付けで終わります。つまり、スポーツを楽しむだけでなく、スポーツに対する姿勢も学習します。

また、1学期には50メートル走等のスポーツテストを実施しています。この時期において、まず、自分の記録を伸ばすことが大切だと思います。その次に、同学年においてどの位置にあるのかを知ること大切だと思います。3年間の記録の伸びを楽しみに真剣に頑張ってみましょう。

ここで、体育実技と保健の授業に関する生徒の声を紹介したいと思います。

サッカーの授業はとても楽しみです。少人数でのミニゲームや、大きいコートを使っでの試合など、毎回変化があって新鮮です。リーグ戦で勝敗を決めるので、チームで作戦を立て、真剣に勝負をします。クラスメートとの団結力が生まれ、みんなとより親しくなれるので、笑顔が絶えません。（男子生徒）

体育ではたくさんの種目を行います。クラスの記録は先生がメモしておいてくれるので、他のクラスとの対抗心もうまれて、記録を伸ばそうとしてチームワークが強くなったり、技術の向上にも役立ちます。保健では知っておくと便利なことや、日常使える知識などが多く含まれているので、とてもいい勉強になります。授業も先生の体験談、実演があり、すごく頭に入り理解も深まります。

（女子生徒）

技術・家庭科

小学生のみなさんにとって、学校で楽しみな時間のひとつは給食ではないでしょうか？食事を取ると、疲れた体は力がみなぎり、気

持ちも落ち着きます。人間は食べつづけることで、生きています。食べることは、生きることと深く関わっているので、学ぶ事も大変多いのです。

みなさんも給食の時間に、多くのことを学んでいるでしょう。たとえば、食事作法について——おはしの持ち方、はしの使いかた、食事の姿勢、いただきますの挨拶。少し難しい内容だと——バランスよく食べる（栄養について）、地域の料理、お正月やひな祭りなどの特別な日の料理。

このように、毎日の生活を健康で楽しくすごせるように、給食の時間を通してさまざまなことを身につけていきます。これらの学びの延長にあるのが、家庭科の“食物”という分野です。今回は、その中の1つの授業を紹介しましょう。テーマは「味」です。

新製品のプリンを食べたとして、その味をどのように説明しますか？

“おいしい”、“甘い”、“にが”、“とろける感じ”、……。

どうでしょうか。一口で答えることは難しいですね。そもそも人間は、舌の上に味を感じるセンサーが備わっています。そのセンサーが敏感であればあるほど、食べ物の味の違いを見分ける事が出来ます。よく、ワインや日本酒の利き酒は、その感覚の鋭い人が行なっています。

そのセンサーの代表的な味は、「基本味」といい、5つあります。

「甘味」「塩味」「苦味」「酸味」そして「旨味」です。カレーなどを食べたときの「辛味」は味ではなく、舌の細胞をカプサイシンなどの成分が刺激し、「痛い」と感じる感覚を「辛い」と言っているのです。

この基本味の中で「旨味」はつい20年ほど前に国際学会において証明された味です。日本人特有の「あまいな」表現であると言われ「味」であるとは認められていませんでした。そのあまいさを科学で証明したのが池

田菊苗博士です。「出汁」の原材料である昆布から旨味成分を抽出しました。その中に含まれるグルタミン酸ソーダやイノシン酸というアミノ酸成分が「旨味」の正体であるということがわかりました。この発見がきっかけとなり「旨味」は5番目の味として認められました。つまり、「旨味」とは鰹節や昆布からとった出汁の味のことなのです。

この味は私たち日本人にとって、毎日の調理に欠かせないのです。味噌汁、煮物、煮魚、そもそも醤油の味もこの「旨味」が凝縮されています。和食の味の土台は「旨味」で成り立っているのです。そのため、海外旅行先で和食が恋しくなるのもこの「旨味」を舌が懐かしがるからです。「お袋の味」も同じ理由です。

このように「出汁」とは、和食の基本となる味です。今やインスタントの出汁の素もありますが、基本となる出汁のとりかたや調理方法を学習する事は、同時に自国の伝統文化について知ることにつながります。食べる事は、楽しい事ですし実はこのように奥が深い世界でもあります。そんな世界を授業を通して、より多くの人に味わってもらいたいです。

音楽科

声を出すことは好きですか。運動会で応援するときには自然に大きな声が出るのだけれど、音楽の時間に歌を歌うのはちょっと苦手と思いませんか。

中等部の音楽の授業では、まずのびのびと気持ちよく声を出してほしいと言っています。マイクやエコーを使わずに、自分の持っている声をそのままおなかから出してみると、ふっとまわりの空気が動く感じがして気持ちいいなと思いませんか。

気持ちがいいのは、声を出している自分だけではありません。その声を聞いている人にもあなたの気持ちの良さが伝わっていきま

す。プロの歌手みたいに上手に歌えないよという人でも、歌っているあなたが「気持ちいいな」と感じているときはその楽しさがふわりとまわりに伝わるのです。

小学校高学年から中学生にかけて、背が伸びるのと一緒に、特に男の子は声が大きく変わる時期をむかえます。授業中にも「あれ、今までの僕^{ぼく}の声が出なくなっちゃった」とちょっと困った悲しそうな顔に出会うことがときどきあります。そんな時は無理に今までの「きれいな声」を出そうとしなくてもいいのです。子どもの声から大人の声への移り変わりの時期なのです。しばらくの間、自然におなかから声を出していれば、いつの間にか「あれ、前とは違って、よくひびく低い声が出るようになったな」と気付くときがきます。それが大人の声になったときです。

そんな時期に、音楽の授業で「声の宝石」の話をすることがあります。それぞれの人のおなかの中に、ひとつずつすてきな声の宝石が入っていると。宝石の色や種類はその人によってそれぞれです。いろいろな形で声を出しながらよく耳をすまして、おなかの中の石を大切にみがいてみるときれいな姿があらわれるのですよ、と。「あ、声を出したら何か気持ちがいい」と思ったら、それはあなたの宝石が少しずつみがかれているサインです。みがいてみて最後にあらわれるのはサファイアかもしれないし、エメラルドかもしれないし、ルビーかもしれません。それぞれきれいで個性や特徴^{とくちょう}のある石なのです。この声の石を授業で少しずつみがいてみられるといいなと思って、いろいろな曲を歌っています。

出していて自分で気持ちの良い声は、みんなに合わせてみると、ひとりひとりの声とまた違ったハーモニーをつくりだします。1 + 1が2よりずっとずっと大きくふくらんで、5にも10にもなるのが合唱の不思議なところ

です。

12月の音楽会では各クラスが演奏をしま

す。40人の「気持ちいい声」の宝石が合わさって、気持ちいいハーモニーになります。学年によって曲や使う楽器などの内容は違いますが、各学年ともそろって声を気持ちよく出そうと努力しています。クラスみんなでのびのび出す声は、聞く人にも幸せな気持ちを届けてくれますよ。



音楽会

英語科

中学1年生になると、いよいよ本格的に英語の授業が始まります。

中等部では入学してすぐに、つづり字と音声の関係を勉強します（この学問分野をphonics（フォニックス）といいます）。皆さんが「エイ、ビー、スィー…」と覚えているアルファベット。実際に英語のつづりの中でも「エイ、ビー、スィー…」と読んでくれば楽なのですが、これが違うことがあります。例えば、エプロン（apron）のつづりではaは「エイ」と読んでも、りんご（apple）のつづりではaは「ア」と読みますね。このような実際の音声との「ずれ」をまずしっかりと意識してもらいます。また、英語のリズムに慣れるために、英語の歌を歌うなどの学習も取り入れています。

そして、とっさに英語で言葉がでてこなかったときに間を持たせるための「えーっと」などのつなぎ言葉や、相手の言ったことを聞き取れなかったときのための聞き返しの

表現といった、英語でコミュニケーションするときに必要な「コツ」も教えます。また、正確に効率よく単語を覚えるために、上手な単語帳の作り方・使い方も教えます。

こうしたことを学んだ上で、たくさん英語に接し、できるだけ多く「使ってみる」授業を中等部では心がけているのです。実際、中等部の1年生では、週に6回、45分間の英語の授業があり、これは他の中学校と比べても多い時間数となっています。

でも、この週6回の英語の授業をただ受けていても、残念ながら英語をスラスラと話せるようにはなりません。がっかりさせてしまいましたか？ でも、ちょっと考えてみてください。私たちの多くは日常生活のほぼ100%を日本語を使って過ごしています。そして、日本語と英語は、全く似ていない「ことば」です。一日、たった45分間、学校の授業内で触れるだけでマスターできるほど、「英語」は簡単なものではないのです。

そこで、中等部生には、できるだけ授業以外でも英語に接するように呼びかけています。昼休みに English Room をオープンし、国際センターの留学生と自由に英語でコミュニケーションをとったり、ゲームをして楽しんでもらっています。また、自宅でも、インターネットを使って英語学習ができるように、音声アプリや Google Classroom、ロイロノート、Moodle などの学習プラットフォームを活用しています。そして、ひとりで英語を勉強していて分からない単語に出会ったときのために、辞書の使い方や発音記号の読み方なども教えています。

こうしたことを学んだ中等部生は、授業内・外で、自らの力で、英語力を伸ばしていくことができるようになります。そして、だんだん英語を通して周りの人とコミュニケーションを図れるようになるのです。

さあ、あなたも、中等部の教室で、自分自身のことをたくさん英語で話してみませんか？



1 年生英語Ⅱの授業風景

H R

中等部では、火曜日の4時限目と土曜日の5時限目にホームルームがあります。学校・学年の計画に合わせながら、各担任がそれぞれ個性を活かして運営にあたっています。

通常の事務的連絡はもちろんですが、行事についての内容、意義や注意事項を説明したり、生徒からの提出物を回収したりします。またクラス、学年、行事、学校全体のことなど、様々なテーマで話をして注意を促したり、生徒同士で話し合ったり、意見を聞くために短い文章を書いてもらうことで、道徳教育の役割も果たしています。

その他には、クラス委員による話し合いがもたれ、意見をまとめて生徒会委員会に提出したり、またそこでの決定事項を伝えたりします。校内大会や運動会が近づいてくると、各委員を中心に選手を決めたり、ルール説明を行ったり、作戦を練ったりします。遠足、林間学校や見学の前には、旅行委員により資料の配付、レクリエーションについての話し合い、またグループ行動の計画決めなどが行われます。担任はそれらの様子を見守りながら、必要に応じて適切なアドバイスを送るよう努めています。

また年に何回か、学年全員が集まってホームルームを行うこともあります。入学当初における学校生活についてのガイダンスや福澤

先生についての特別授業、また遠足や林間学校の準備会などが行われます。各クラス単位にとどまらず、学年全体で話を聞く機会も大切にしています。

さらに、全校生徒が集まって話を聞く例会が年に数回行われます。各学年代表者による遠足の報告や、担当教員による校内大会や展覧会の説明や諸注意、また避難訓練では消防署の方の話を聞いたりします。生徒会委員会委員長選挙の前には、立候補者や応援者の演説会も行われます。

ホームルームで生徒たちが最も楽しみにしているのは、席替えのようです。各担任が工夫をこらして行われますが、多くの場合はくじで決めるようです。誰の隣になるか…、生徒達にとっては一大事ようです。

●学級日誌●

HR担任 検印			No.
4月	25日	金曜日	記載者
時限	教科	担当	進度
1	保健	伊藤 さん	普通救命講習 胸骨圧迫・AEDのしかた「救命の連鎖」について学んだ
2	国語	高野 さん 大住 さん	ノートのきしきを取り方について、過去の卒業生の良いノートを参考に学んだ。
3	数Ⅱ	芳賀 さん	回転移動・対称移動について学んだ。角速度の作図をした。
4	音楽	高柳 さん	整奏法を学んだ。 アルトリコーダーが響いた。トーンの指づかいを型文を少しし、いた。
5	英Ⅱ	伊藤 さん 大住 さん	フォニックスの練習をした。 クラスルームイマジネーションを学んだ。
6	理Ⅰ	内山 さん 大住 さん	物質の量と質量、測定器具について学んだ。 次は実験!!
欠席	なし	記	ノートを取るのが好きなので国語でキズイノの取り方を学べてよかった。テスト前に読み返せるノートをつくりたい。
遅刻	なし	事	また今日は、昼休みにクラス委員の集まりがあり、議長・副議長・書記を決めた。
早退	なし		20分休みの時にバレーボールをした。楽しかった。
当番			リーディングメモを5/8に提出する バレーボール楽しそうだね。 来週は昼休みです。

図書室

近ごろ、「活字離れ」・「読書離れ」や「読書嫌い」といった言葉を耳にします。なるほど、今は小さいころからパソコンやスマホに

慣れ親しんでいるのも珍らしくないですし、外でスポーツしたり遊んだりするのに夢中な人も、本よりゲームをするのが好きな人も多分にいるでしょう。しかしながら、本そのものは決してなくなることはありません。なくならないどころか、本の出版点数は年々増え続けているのです。それはどうしてでしょうか。もともと、本というメディアは非常に優れているものです。持ち運びに手軽で、電源も不要ですし、読む場所も限定されません。同じ活字を目にするにしても、パソコンなどの画面よりも紙面のほうが疲れも少ないと思います。

いろいろ本の利点を述べましたが、それにもまして力説したいのは、やはり、本を読むのは楽しい！と言うことです。冒頭に書いた「読書嫌い」についても、たまたま本を手にする機会が少ないだけで、そう決め付けている人が多いような気がします。食わず嫌いと同じようなものです。そういう人ほど、実際に本を手にとってみると、「案外本っていいものだな」と気がつくことでしょう。中等部の図書室に来て、そういった本の楽しさをみなさんにたくさん知ってもらえることを期待しています。

さて、中等部の図書室には、約37000冊の蔵書があります。その中には、手軽に読める小説から、新書類、各種辞典、作家の全集本、洋書とかなり幅広く取り揃えています。また、福澤先生の資料の展示コーナーもあります。それほど大きいと言えない図書室ですが、秘められた知識の量は無尽蔵です。

最後に、中等部図書室を語る上で欠かせないものを二つご紹介します。まずは、『読書のすすめ』です。これは、中等部の教員が、中等部生にすすめる本を網羅した冊子で、新入生に配布されます。次に、「リーディング・メモ」です。これは、中等部三年間をかけて読んだ本を記録するノートです。中学生時分に読んだ本の思い出はかけがえのないもの。

がんばって読んでいる人は2冊、3冊と増やしていきます。



福澤先生関係資料（常設展示）

いかがだったでしょうか。紙面では中等部図書室の全ては語りきれません。4月に新入生となったみなさんとお会いできればと思います。そして、中等部の図書室で楽しい読書のひとときを過ごして下さい。

保健室

中等部の保健室は、慶應義塾の小学生から大学生の健康管理をしている保健管理センターの分室のひとつとして機能し、各分室と連携をとりあい、慶應義塾の一貫教育校ならではの健康管理を行っています。例えば、慶應独自の「健康手帳」や「健康のすすめ」という小冊子を配布し、みなさんの健康状態について家庭と情報交換を行っています。健康診断では、法律で定められた項目の他に、希望者には血液検査をし、生活習慣病の予防、学校感染症の予防、貧血の早期発見など病気予防への積極的な対応を行っています。

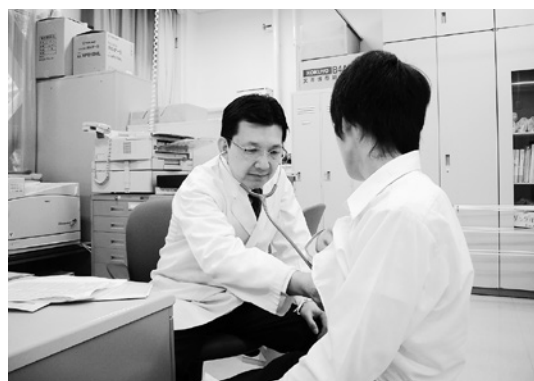
保健室には、ほぼ毎日、学校医が在室し、みなさんの健康管理や健康相談、発熱や外傷などの救急診療にあたっています。必要に応じて、慶應義塾大学病院をはじめとした医療機関へ診療を依頼することもあります。

その他、中等部では、成長期のスポーツ障害予防の積極的な取り組みとして、スポーツ

医学相談、スポーツメディカルチェックを実施しています。スポーツ医学相談では、慶應義塾大学病院の整形外科スポーツドクターが来室し、整形外科的な問題について相談を行っています。スポーツメディカルチェックでは、循環器系の内科的検診と整形外科的検診を合わせて行います。みなさんが安全にスポーツ活動を行っていただけるように、毎年、熱中症の予防、スポーツ傷害予防などの講演会も開いています。

また、無理なダイエットで健康を害することがないようにウェイトコントロールについても講演会を行っています。

中学生は、勉強の内容も増え、部活動や交友関係も活発になり、生活行動範囲の広がる時期です。身体の成長が著しく、また、精神的にも不安定になりやすい時期です。このような時期には、いろいろなことで悩みが多くなるものですが、お友だちや担任の先生などのほかにも、保健師、カウンセラー、学校医（小児科医）など、保健室にも相談できるひとがたくさんいますので、気軽に話しに来て下さいね。



スポーツメディカルチェック

同窓会活動

11月に行われる展覧会に40歳を迎えた人たちが中等部に集まります。中等部「卒業25周年式典」に参加する、中等部の卒業生です。毎年参加者が、「人生の中で中等部時代が一番楽しかった」と感慨深げに語る姿がみられます。中等部を卒業して25年、不惑と呼ばれる卒業生は様々な分野で活躍しています。中には、社会的にも著名な方もいます。しかし、この日は中学生に戻って、級友やクラス担任と楽しく話の輪の中に加わっています。自由で明るい中等部の校風が20年以上の年を経ても色あせていない表れといえるでしょう。

同じく展覧会の会場には、同窓会の展示教室が設けられています。中等部の歴史やOB・OGの活躍と中等部時代の思い出などを展示し、同窓生ばかりでなく、中等部生徒や一般の来場者にも同窓会活動の紹介をしています。中等部生にとっては、先輩たちの言葉が将来の人生設計に大いに役立っているようです。

慶應義塾中等部同窓会は、「慶應義塾中等部卒業生の連絡をはかり会員相互の親睦を厚くし、自由な中等部気風の継承と高揚をはかること」を目的として、1964（昭和39）年に正式に発足しました。具体的な活動内容は次の通りです。

- (1) 塾風の伝承に関する援助
- (2) 1回生からの全同窓生が集う
「同窓会の日」の開催
- (3) 会員名簿の管理、特選塾員の推薦
- (4) クラス会、同期会への援助
- (5) 慶應義塾中等部同窓会奨学金制度
(名称・中等部ひまわり奨学金)
- (6) その他本会の目的に添う事業
 - ・大学3年生の同窓会員を対象とした個別企業セミナーの開催
 - ・会報「中等部ジャーナル」の発行
 - ・中等部卒業5周年・15周年同期会及び

25周年・50周年記念式典・懇親会の開催
支援

- ・展覧会での展示
- ・中等部生対象の同窓会員による講演会
(名称・キャリア講座、環境講座、特別授業、同窓会機構の説明)
- ・各卒業回生の代表が参加して活動内容を討議・決定する、常任委員会（年8回程度）、代議員総会（年1回）の開催

こうした諸活動以外にも、校友会（クラブ）活動を軸に、OB・OG会の開催や、卒業生コーチによる指導も活発に行なわれています。

慶應義塾には、福澤先生のおっしゃった「社中」という言葉があります。学生・生徒、保護者、教職員、そして卒業生、慶應義塾と係わりのある全ての人々が、まるで家族のように協力し慈しみあう、という意味です。

卒業生同士の交流に留まらず、現役生徒対象の奨学金制度や講演会、展覧会での展示などの幅広い活動をしている中等部同窓会は、まさに「社中」の象徴といえるでしょう。中等部で培った人々のふれあいはその3年間で終わるのではなく、中等部同窓会という組織を通して、卒業後も続いていくのです。

中等部生活を土台とした、良き友人関係を卒業後も大切に育み、さらに世代を超えた幅広い交流が行なわれているといえるでしょう。



「同窓会の日」の様子

楽しい成長の場である中部部

一年男子

私は、中部部に入学できて本当に良かったと思います。その理由は大きく分けて二つあるので、それをこれから紹介していきます。

まず一つ目は部活動です。友達にすすめられ、バレーボール部に入りました。ハードな面もありますが、友達と協力することで楽しく活動しています。休み時間や朝の時間も利用して練習をしています。

次に二つ目は学校行事です。行事も中部部生活の大きな部分を占めています。慶早戦には、あいにくの天気で行くことはできませんでしたが、遠足や校内大会で他クラスとの交流も深められ、学年がひとつになれたとても良い機会になりました。

しかし、中部部生活はただ楽しいだけでなく、時には勉強や友達との関係などの悩みがあります。それらを相談したり考えたりしつつ乗り越えることで一歩成長できるのだと思います。

このように、私の中部部生活は、様々な感情と経験によって彩られています。この日々の貴重な時間を大切に、将来に向けての土台にしたいです。これからの三年間、中部部生活を思う存分に楽しんで成長していきたいです。

中部部らしさ

一年女子

新しい学校生活への期待に胸を膨らませて迎えた入学式。私は七十九回生として、ここ慶應義塾中部部に入学した。同じ小学校出身の子がおらず、上手くやっていけるか不安でいっぱいだった。教室に入り、辺りを一周見渡した。やはり新鮮だ。斜め前の席の子と何回か目が合った。私はその子に話しかけてみたいなと思っていたところ、「お名前何ていうの?」と逆に聞かれた。中部部での初めての友人ができたのだ。私は嬉しくて嬉しくてたまらなかった。

それから早数ヶ月が経った今、とても充実した学校生活を送っている。朝に中庭でバレーボールをしたり、友人たちと話したりしているが、最近では、少し壁を感じていた男子とも話せるようになったし、他クラスにも友達ができた。中部部生活の醍醐味、校友会も始まった。先輩方が優しく教えてくださるので、仲間と切磋琢磨できる雰囲気心地良く、楽しい。入学する前から、中部部は明るくアクティブな学校だと感じていたが、本当にその通りだと思う。まず、先生方との距離が近い。授業中も私達に考えさせる構成になっていて、毎授業飽きない。これはまさに「中部部らしさ」なのだ。これからの中部部生活をより充実させるために、良き友達と先生方に囲まれながら自分を磨きたい。

みなさんは日々の変化をどのようにみていますか。日常生活のちょっとした変化を敏感に感じる人もいれば、日本や世界情勢の変化に興味を抱いている人もいるかと思います。日本の文化も変わってきたと実感している人もいないのでしょうか。このように、わたしたちを取り巻く環境で様々な変化が起きているのは事実です。どれも人間が引き起こしたものといっていいいかもしれません。

これらを踏まえて、今年度の作文のテーマは「変」にしました。今年も中等部生が考える「変」について、さまざまな視点で書いてくれました。その中から、男女各1編を紹介します。

学校のAI活用はもっと進化するか 1年男子

科学の急速な進歩は、私達の社会に大きな変化をもたらしている。特にAIの活用は、私達の生活に身近になってきている。例えば、医療の診断や電気自動車など、AIが導入され活躍している。つまり、人間ではなくても出来る仕事が、世の中に沢山あるということだ。今はまだ人間が行っている仕事も近い将来には、進化した人工知能付きコンピューターに変わる可能性が高い。私達が大人になる頃には、今以上に人間の仕事が減り、仕事の選択肢が減っているだろう。

では、学校の先生はどうだろうか。AIは24時間いつでも勉強を教える事が可能だが、いくつかの課題がある。AIは、人間の教師が提供出来るような深い対話や個別指導の柔軟性を持っていない。更に、教師は人間性や社会性の発達を促進させる役割を担っているが、AIが主となる教育では、倫

理的な価値観や創造性の育成が難しいと考えられる。また、学校行事においても、何か面白いことがあっても、一切感情を出さず、生徒との交流を深めることが出来ない。一学期に行った林間学校の天気が悪く残念に思った気持ちや雨の中のハイキングの疲労感を、AIと共有出来るとは考えられない。つまり、私達のような心が未発達な中学生にとって、先生との信頼関係を築くことは、学校での重要な学びになるので、AIが先生になると、この学びが欠落してしまう。

このように考えて、教育現場にAIを導入することは、多くの利点をもたらす一方で、人間性の教育課題が達成出来ない点が懸念される。

未来ではどうなっているかわからないが、私は叱られたり、褒められたりするの、やっぱり人間の方が好きだ。

私と違う誰か 1年女子

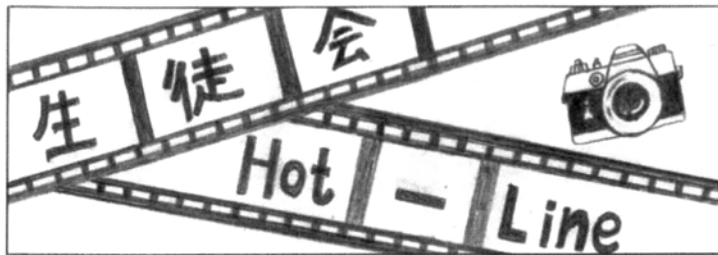
私はこの学期で、友達との付き合い方が変わったと思う。

今までの私は、何でも友達の言う通りにしていた。友達がこうしたいと言えば、自分はこうしたいと思って「そうだね」と言ってきたのだ。友達とは、そういうものだと思い込んでいたのだと思う。

だから、中等部に入学して驚きを隠せなかった。誰かがこうしたい、と言ったとき、違う子が「私はこうしたい」とはっきり言う。そんな場面がたくさん見られたのだ。そして、みんなが互いの意見を尊重する姿は、私の思い描いていた「友達」の姿とは全く違っていった。その姿を見て、気付いたことがある。私は、自分の意見を持っていなかった。中等部の友達は、自分をしっかりと持ち、相手らしさも尊重していたのだ。私はみんなと関わり合う中で、自然と自分の意見を言えるようになっていった。最初は、否定されたらどうしようと

不安に思っていたのだが、みんなが受け止めてくれるので、安心して言うことができたのである。そして、私もみんなの意見を尊重することができるようになっていた。そんな学校生活はとても楽しく、充実していて、中等部に入学してよかったと思っている。自分らしくていいということ気付かせてくれたみんなにも、とても感謝している。今まで気付かなかった自分の個性にも気付くことができたからだ。これからは、その個性を大切に育てていき、私という人間をより成長させたいと考えている。

今は、友達の言う通りではなく、自分の意見も、相手の意見も大切にできるようになった。私が変わることができたきっかけは、中等部の友達だ。これからは、他の人も自分の意見が言えるように、私が力を貸して後押しすることができるようになりたい。



第1号 2025.4.30

中等部生の皆さん、こんにちは。生徒会報道局です！

今年度、生徒会 Hot-Line の執筆を担当いたします3年F組の
です。
昨年度に引き続き、わたくし一人での活動となりました。至らない点も多いと思いますが、他局
のスタッフとも協力しながら活動してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、一年生の皆さん。先日の新入生歓迎会では、入部したい校友会は見つけられましたか。

見つけたのであれば、ぜひ公開練習に参加して

この第1号では各校友会の公開練習の日程を次
ては公開練習に出席しないと入部できない場合も

【そのほかのお知らせ】

2025年度の生徒会 Hot-Line の題字を募集
その際の留意点をいくつかお伝えします。

- ① 学年は不問です。ただし、オリジナルのものに
- ② 個人応募でも団体応募でもどちらでも構いま
- ③ サイズの指定があります。応募する場合は、拒
かれた題字用紙を受け取ってください。
- ④ iPad 上での配信となるため、色がついてい
- ⑤ 「生徒会 Hot-Line」の文字が必ず入るように
- ⑥ 提出は5月17日の昼休みまでに3F のと
- ⑦ 題字は第2号から使用いたします。応募数によ

生徒会の広報活動は活発で、刊
行物としては機関誌である「生徒
会ニュース」(右)と、速報性の
ある「生徒会 Hot Line」(上)
があります。「生徒会ニュース」
は生徒会と生徒の架け橋としての
役目を果たしており、学校行事の
報告も行っています。「生徒会
Hot Line」では委員会の動きや
校友会の活動結果などがより早く
生徒に伝えられています。

生徒の自治組織である生徒会は、
生徒全員によって組織されていま
す。その中心は各クラスから選出
された委員によって構成される生
徒会委員会で、生徒全体の自治意
識を高めることを目的にして活動
しています。生徒全体に関する問
題の議題がでると、生徒会委員
会で話し合い、それを各クラスで討
論し、その結果を委員会で話し合っ
ています。

2025. 3. 17

1

第277号

生徒会ニュース

慶應義塾中等部生徒会



☆はじめに

皆さんこんにちは！3月になっても寒い日
が続きますがお元気ででしょうか。中等部では、
卒業の日が近づいてきました。最後まで我々
三年生は残りの中等部生活を楽しんでいき
たいと思います。また、4月からは新入生も入っ
てくるので、1、2年生はお手本になれるよ
う頑張りましょう。

今年の生徒会ニュースも一生涯命作りまし
た。報道局の最後の活動であり、生徒会活動
の集大成です。ぜひ最後まで読んで頂けると
嬉しいです。



今号の内容

- P.1 はじめに
新生徒会事務局について
- P.2 新旧委員長対談
- P.4 新スタッフ各局意気込み
- P.5 念願の西校舎ホールでの生徒総会
- P.6 青山学院中等部との交流会
ユニセフ募金について
- P.7 旧委員長・副委員長より
- P.8 あとがき



☆新生徒会事務局について

生徒会事務局が次の代へと引き継がれ、
我々76回生の生徒会事務局も旧事務局となり
ます。来年度の生徒会事務局は人数が多いの
で、中等部の心強い柱となることでしょう。
各局がお互いに支え合い、無事に成し遂げる
ことを願っています。そして新しい生徒会事
務局が、今よりも、より良く、より楽しい中
等部へと導くことを願っています。

今回、生徒会事務局の人事が一変しました。
新たに生徒会委員長、副委員長、各局チーフ
になった方々に意気込みを書いてもらいま
した。そして、新生徒会委員長の〇〇君には旧
委員長の△△君と対談をしてもらいました。



↑2024年度生徒会スタッフ

慶應義塾の目的

慶應義塾は単に一所の学塾として自^{みず}から甘んずるを得ず。

其^{その}目的は我日本国中に於^おける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、

之^{これ}を實際にしては居家、处世、立国の本旨^{あきらか}を明にして、

之を口に言ふのみにあらず、躬行実践^{きゅうこう もつ}以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり。

福澤諭吉

創立者福澤諭吉の慶應義塾に込めた思い、教育こそが社会変革^{こんかん}の根幹であるとの確信はこの一文に込められている。人々の意識や習慣を変え、さらにはそれを基^{もと}に社会を改善する力が学問にあると考え、それをまず自らが「先導者」として実践し、多くの卒業生が彼に続いた。近現代の日本の歴史の重大な場面に、慶應義塾の卒業生の姿があったことは偶然ではない。

とりわけ福澤諭吉が教育の成果として強調したのが「気品」。これは外見や言葉遣い^{づか}のことではなく、自然とにじみ出る人格の高潔さ、人間の大きさのこと。その中には、社会が直面する困難な課題を進んで発見し、その解決に率先してコミットしていく精神^{きゅうこう}も含まれる。「躬行実践」とは、口先だけでなく、自から実際に行うことを意味する。そういった精神と行動力を持った人を「先導者」と呼んで育てようとしたのである。

義塾

義塾とは、義^{えん}捐金で運営される公共の学塾のこと。義とは“社会公共のため”“協力して事業を行う”との意味を持つ。したがって慶應義塾を今の言葉にすれば“慶應共立学校”となる。義塾は英国の「public school」の訳語とも推定される。福澤個人の私塾でもなく、国家や藩からも独立して、権力から独立した公にされた存在として誰もが参加できる、協同で運営されるソサエティという意味が込められている。1868（慶応4）年4月、「創立の年号に取て仮に」慶應をつけたと言われ、その仮の名が今に至るのは、義塾の大らかさを表していよう。

独立自尊

慶應義塾の教育理念が要約された言葉。なにもものにも屈せず、誰にもおごらず、権威や習慣、常識なるものに囚われず、ただ己^{おのれ}の良識と信念に照らし合わせて考え行動する。こうした態度を身につけることを学問することの目的とした。そこでは同時に、一人一人の成熟によって、個人の意識や習慣を変えることで、社会を改善することが目指されている。福澤は「一身独立して一国独立す」とも表現した。近代国家の確立は個人の自立と切っても切れない関係にあると考えていたのである。

実学

福澤諭吉が提唱した学問は「実学」と総称される。これは単なる実用の学、実用知識や技術を意味するものではない。福澤は実学に、わざわざ「サイヤンス」とふりがなをつけている場合もあり、実学は実証科学としての学問を指していた。平たくは、実学とは科学する心のこと。自立した個人のありようと、科学的にもの事を考えられる判断力と問題解決力を養うことは一体化して考えられていた。また、学問のための学問ではなく、物の理にそった思考と行動様式を日常生活に浸透させることを含んだ言葉ともいえる。社会改良・生活改善のための学問、それが「実学」の意味である。

半学半教

学業の進んだ者が他の者を教え、同時にさらに上級の者に学ぶという仕組み。幕末期に福澤諭吉が始めた蘭学塾では、教える者と学ぶ者の分を定めず、それぞれの分野で一日の長のある者が教える、相互に教え合い学び合う仕組み、すなわち「半学半教」の教育形態を実践していた。これは義塾の草創期に師弟共に未知の新分野に挑戦する中ではぐくまれたものだが、後進の世代に対して、学問は究めるほど奥が深く、教員も学生も生涯学び続けなければならないというメッセージともなっている。慶應義塾では、学問に対する志を同じくする者が、ある時は教え、またある時は学び、協同で塾を維持運営するという草創期の精神は今も受け継がれている。

自我作古

「我^{われ}より古^{いにしへ}を作^なす」と訓み、前人未到の新しい分野に挑戦し、たとえ困難や試練が待ち受けていても、それに耐^たえて開拓に当たるといふ、勇気と使命感を表した言葉。出典は中国の『宋史』。現在の言葉で平たく言えばチャレンジ精神。草創期の先進塾生たちが、西洋文明をいち早くとりいれて、日本の近代化に貢献^{こうけん}せんとしたその雄々^がしき気概を示す一種のモットーの如くに使われている。日本の近代化において、鉄道、電気、ガス、水道、保険、新聞などの分野で事業をリードしてきた慶應義塾の卒業生は、身をもってこの言葉を実践した。

社中協力

慶應義塾は学問という志を同じくするものの結社である。そう表されるほど、学生と教員、また卒業生同士のつながりは強い。「社中」とは、学生・教職員、卒業生などすべての義塾関係者の総称。目的と使命感を共有する者のあつまりという意味がある。義塾の運営を経済的に支えている維持会（1901（明治34）年創設）のほか、卒業生約三十万人が何らかの形で所属する三田会は、職場や地域で組織され、日本だけでなく、世界中で合わせて約860を数える。

慶應義塾の歴史

1853 ペリー浦賀に来航

1854 日米和親条約

1858 福澤諭吉、蘭学塾を創始

江戸築地鉄砲洲の中津藩奥平家の邸内に福澤が開いた蘭学塾が慶應義塾の原点です。現在、中央区明石町の同地には、慶應義塾発祥之地記念碑が建てられています。

1863 英学塾に転向

1868 慶應義塾と命名

三度にわたる欧米視察で、英語、経済学など新しい教育の必要を痛感した福澤は、1868（慶応4）年、藩や国家などから独立した近代教育の先駆となる学塾として整備。それまで名前のなかった塾を時の元号に因み、慶應義塾と命名しました。

1874 幼稚舎発足

1871（明治4）年、義塾は現在の三田に移転。1874（明治7）年1月には義塾内で和田義郎による塾が開かれ、のち幼稚舎と呼ばれるようになりました。

1889 大日本帝国憲法の発布

1890 大学部発足

福澤は義塾をゆくゆくはユニバーシティにしたいとの構想を持っていましたが、1890（明治23）年、3人の主任教師をハーバード大学などから招くことによって、待望の大学部（文学科、理財科、法律科）を設置。1920（大正9）年大学令公布によって義塾は法令に基づいた大学となり、その際自然科学系統の医学部を加え、私学初の総合大学となりました。

1894 日清戦争勃発

1898 一貫教育の完成（普通部発足）

義塾は3年制の大学部と7年制の普通部からなる組織でしたが、1898（明治31）年、これが5年制の大学部、5年制の普通部（中等教育）、6年制の幼稚舎（初等教育）からなる一貫した組織に改編されました。幼稚舎からは16年、普通部からは10年という今日と同じ一貫教育が確立したのはこの時です。

1899 私学初の留学生派遣

大学部開設当初の問題は、教授の確保にありました。名実ともに学問の府となるためには、塾出身の大学教授を育てる必要がある、そう考えた福澤は、1899（明治32）年、大学部の卒業生数名を欧米の大学に留学させました。これが私学初の留学生派遣です。彼らが帰国し、大学部の教授陣に加わり、その人々に教わった学生がまた教授となる半学半教の義塾の伝統は、この留学生制度で新たな成果を生みしました。

1901 福澤諭吉没する

1904 日露戦争勃発

1906 大学院設置

学部卒業後のさらに高度な教育・研究を望む気運が塾内に高まったことから、慶應義塾は1906（明治39）年に大学院を設置しました。これが現在の新制の大学院になったのは1951（昭和26）年です。

1914 第一次世界大戦勃発

1917 医学教育の出發

1920 文・経・法・医からなる総合大学となる

1923 関東大震災

1934 日吉キャンパス開設

関東大震災の復旧が一段落した頃から、校地の拡大による環境整備が検討され始めました。1928（昭和3）年から1934（昭和9）年にかけて日吉台に13万坪の敷地を確保し、第一校舎と体育施設が竣工。大学予科の移転をもって日吉キャンパスが開設されました。

1939 第二次世界大戦勃発

1941 太平洋戦争開戦

1944 藤原工業大学が寄付され工学部となる

1945 広島・長崎に原爆投下



- 1946 日本国憲法公布
- 1947 **男女共学を実施（中等部・女子高等学校の設立）**
『学問のすゝめ』の冒頭で平等の思想を説いた福澤は、数多くの著作を
ととして女子教育の必要を訴え、また女子教育機関の設置を試みました。
戦後の教育基本法の制定により男女共学が実現し、義塾ではまず中等部
を設立、幼稚舎を男女共学としました。続いて1950（昭和25）年に女子
高等学校を設立して女子教育を始めました。また大学はこれに先立ち、
1946（昭和21）年から女子学生の入学を認めました。
- 1948 **高等学校発足**
前身である第一高等学校・第二高等学校が発足。翌1949（昭和24）年に
両校を統合して慶應義塾高等学校と改称しました。
- 1957 **商学部開設**
- 1957 **志木高等学校発足**
1948（昭和23）年に設置された慶應義塾農業高等学校から広大なキャンパスを引き継ぎ、普通高等学校とな
りました。
- 1962 **ビジネス・スクール発足**
- 1964 東京オリンピック
- 1970 日本万国博覧会
- 1972 札幌オリンピック
- 1981 **工学部を理工学部へ改組**
- 1990 **海外での教育を開始（ニューヨーク学院設立）**
日米それぞれの教育の良さをあわせ学んだ国際人の養成を目的に、1990（平成2）年、義塾は米国にニュー
ヨーク学院（高等部）を開設。慶應義塾の海外での教育・研究の拠点として、その第一歩を記しました。
- 1990 **湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部開設**
- 1990 東西ドイツ統一
- 1992 **湘南藤沢中等部・高等部開校**
生徒の能力と個性の伸張を継続的・発展的に図ることを目的に中学・
高等学校を統合した6年間一貫教育を目指して開校しました。
- 1993 ヨーロッパで欧州連合（EU）が発足
- 1995 阪神・淡路大震災
- 1998 長野オリンピック
- 2001 **看護医療学部開設**
- 2001 アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2004 大学院法務研究科（法科大学院）開設
- 2005 大学院健康マネジメント研究科開設
- 2008 創立150年を迎える
- 2008 共立薬科大学との合併により、薬学部、大学院薬学研究科開設
大学院システムデザイン・マネジメント研究科開設
大学院メディアデザイン研究科開設
- 2011 東日本大震災
- 2013 **横浜初等部開校**
慶應大阪シティキャンパス開設（リバーサイドキャンパスを移転）
- 2015 **大学部開設125年記念式典・講演会開催**
- 2016 **殿町タウンキャンパス開設**
- 2020 **新・日吉記念館竣工**
- 2021 **慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）開館**
福澤諭吉記念慶應義塾史展示館開館



- ① オランダでの福澤諭吉
- ② 大学部校舎（1904年竣工）
- ③ 開設間もない日吉キャンパス
- ④ 創立100年記念式典
- ⑤ 創立150年記念式典

募集のあらまし

1. 募集人員

男子：約 120 名 女子：約 50 名
(内部進学者の進学状況により多少の変動があります)

2. 募集要項の発表と出願

- ① 2026 年度募集要項の発表
中等部ホームページに掲載します。
9 月 1 日を予定しています。
必要書類はプリントアウトしてください。
※願書の頒布はなくなりました。
- ② 出願期間
Web：12 月下旬
郵送：1 月上旬
Web・郵送とも必須となります。
※郵送については、日本国内の郵便局の消印があるもののみとし、着日指定で送っていただきます。本校での窓口受付はいたしません。
詳細は募集要項をご覧ください。
- ③ 出願書類
 - (1) 入学志願書
 - (2) 報告書(出身小学校記入)
 - (3) その他中等部で指定するもの
- ④ 入学検定料 30,000 円

3. 入学試験

- ① 一次試験 国語・社会・理科・算数
- ② 二次試験 (一次試験合格者のみ)
体育実技・保護者同席の面接
- ③ 試験日程
 - ・一次試験
2 月 3 日(火) 8:30～12:30
 - ・一次合格発表
2 月 4 日(水) 15:00～17:00
(Web 発表)

・二次試験

2 月 5 日(木)

※二次試験は次の時間帯の中で、2 時間程度を学校側で指定します。

女子 7:50 頃～11:00 頃

男子 10:00 頃～18:00 頃

・合格発表

2 月 6 日(金) 15:00～17:00
(Web 発表)

④ 試験場

一次試験 慶應義塾大学三田キャンパス
(男子；第一校舎・女子；西校舎)

二次試験 慶應義塾中等部校舎

4. 学 費

入学に必要な費用は、2026 年度については未定ですが、参考までに 2025 年度の現行額は次の通りです。

入 学 金	340,000 円
授 業 料	930,000 円
教育充実費	210,000 円
校友会費	15,000 円
合 計	1,495,000 円
(授業料分納の場合 1,030,000 円)	

※義塾内の他の中学校に入学手続きを完了した者には、納入した学費等の振替制度があります。

※所定の期日までの入学辞退者には、入学金を除く学費を返還します。

※なお、詳細は 2026 年度募集要項をご参照ください。

Q & A

入学試験について

Q 1. 受験にあたって条件がありますか？

A. 特別な条件はありません。受験資格としては、下記ア、イのいずれかに当たる者としています。

ア. 2026年3月に小学校、またはこれと同等の学校を卒業見込みの者。

イ. 次の(1)(2)の条件を共に満たしている者。

(1) 2013(平成25)年4月2日から2014(平成26)年4月1日までに生まれた者。

(2) 海外に在住し、2026年4月以降日本に居住予定の者。

※なお、上記ア、イ共に東京都およびその周辺に保護者(代理者可)が居住、または居住予定の者に限ります。

Q 2. 志願者数、合格者数はどのくらいですか？ また、繰上合格はあるのですか？

A. 最近3年間の志願者数、合格者数は以下の通りです。

		志願者数	合格者数
2023年度	男子	856	135
	女子	448	58
2024年度	男子	861	142
	女子	454	56
2025年度	男子	834	139
	女子	401	57

この他、繰上合格者が若干名いますが、年度によって増減があります。

Q 3. 帰国生入試は実施していますか？

A. 実施していません。

Q 4. 入学試験の時間と配点を教えて下さい。

A. 国語・算数が各45分で各100点、社会・理科が各25分で各50点です。

Q 5. 受験の際の持ち物を教えて下さい。

A. 一次試験で必要なものは、受験証・筆

記用具(鉛筆(シャープペンシル可)・消しゴム)です。下敷・定規・コンパス・分度器は必要ありません。一次試験の試験場の各教室には時計はありません。腕時計を持参してもかまいませんが、アラームをセットして使用してはいけません。計算機、計算機のついた時計の持ち込みは禁止しています。二次試験で必要なものは、受験証・体育着・体育館用の運動靴・外履きを入れる靴袋・衣服などを入れる袋です。なお、一次試験・二次試験ともに、上履き、お弁当は必要ありません。

Q 6. 特に重視される科目はありますか？

また、教科ごとの足切りはありますか？

A. 特に重視する科目、教科ごとの足切りはありません。一次試験・二次試験を総合して最終の可否を決定します。

Q 7. 保護者同席の面接では、両親共に出席しなければならないのですか？

A. できるかぎりご両親でご出席下さい。やむを得ない場合には、お一人でも結構です。なお、二次試験の時間は、学校側で指定させていただきます。

Q 8. 寄付金がありますか？

A. 義務づけられた寄付金はありません。ただし入学後に、任意で、「慶應義塾債」(1口10万円でできましたら3口以上、大学卒業時または大学院修了時に償還)のお引受け、及び「慶應義塾教育振興資金」(年額1口3万円でできましたら2口以上)、慶應義塾の教育・研究・医療環境整備事業の募金、中等部教育充実資金へのご応募をお願いしています。これらは、教育充実のために使われるものです。

Q 9. 慶應義塾の中学三校(普通部、中等部、湘南藤沢中等部)を併願することは可能ですか？

A. 三校とも受験可能となるように配慮します。

学校生活について

Q 1. 通学範囲はどのくらいですか？

- A. 今年度の新入生（240名）では、東京23区内から190名、東京23区外から6名、神奈川県から27名、千葉県から8名、埼玉県から8名、茨城県から1名が通学しています。片道の通学時間は、30分までが48名、1時間までが150名、1時間30分までが41名、2時間以上が1名です。

Q 2. 学校指定のカバンはありますか？ また、靴は革靴でなければなりませんか？

- A. カバンや靴に指定はありません。基準服を着る場合には黒の革靴、体育館では赤ひもの運動靴を使用します。

Q 3. 昼食と売店について教えてください。

- A. 昼食は弁当持参が原則となっています。月・水・金のみ、事前ネット予約でお弁当の注文ができます。構内にパン・ジュースの自動販売機もありますが、これのみでは生徒の成長・発育に十分な食事とはいえません。また、事務室では文房具を販売しています。

Q 4. 校友会活動（クラブ活動）への参加状況を教えてください。

- A. 校友会への参加は自由ですが、どの部にも所属していない生徒はほんの数名です。各部の活動は原則として平日週3日以内ですから、兼部している生徒もたくさんいます。

Q 5. 生徒用のコンピュータの施設について教えてください。

- A. 2025年4月現在、CAV室に50台、プラ館分割教室に26台、視聴覚教室に42台（タブレット）、その他生徒が利用できるものが数台あり、すべてインターネットに接続可能です。

Q 6. いじめはありますか？また、どのような対策をとっていますか？

- A. 日頃、互いを尊重しあうことの大切さを指導していますが、残念ながら、いじめが起こることもあります。いじめに対して、学校として厳しい姿勢で対応しています。いじめが起きた場合、起こりそ

うな状況があった場合、教員同士が連携しながら解決するまで取り組んでいます。

Q 7. 不登校の生徒はいますか？ また、どのような対策をとっていますか？

- A. 学年によっては、不登校の生徒がいる場合もあります。カウンセラーが週2回カウンセリングを行います。また、担当の小児科医、ストレスケアの専門医とも緊密に連絡をとって対応します。

Q 8. 慶應義塾の中学校には、中等部の他に普通部・湘南藤沢中等部がありますが、各学校の特色を教えてください。

- A. 中等部は男女共学75年間の歴史の中で集団生活における幅広い体験を重視する学校、普通部は長い伝統のもとで個性の伸長を図る男子校、湘南藤沢中等部は時代の流れに先行する試みを盛り込んだ中高一貫の男女共学校といえるでしょう。

Q 9. 学費以外にかかる費用はどのくらいですか？

- A. 入学までに、基準服（8～12万円、揃える点数による）、体操服（2万6千円程度）、スモック（6千円程度）、絵の具（1万5千円程度）、防災ずきんカバー（1,500円程度）を購入します。今年度の1年生は、積立金（教材、遠足、見学、鑑賞会等の費用）として年額10万円、林間学校費用として7万円、iPad費用として10万円をお預かりしています。その他に、各クラブでの必要用具一式を揃えるのに数万円かかり、長期休暇中のクラブの合宿に1回当たり4～6万円かかります。

Q 10. 入学後、保護者の海外赴任に帯同して海外に転出し、その後帰国した場合、中等部に復学することはできますか？

- A. 渡航期間が2年間までなら復学できます。ただし、以下の点についてご承知おきください。
- ・渡航期間中は保護者と同居して生活を共にするものとする。
 - ・渡航前と渡航後に必要な書類を提出する。
 - ・渡航期間終了後は中等部に復学するものとする。

また、学年が遅れることなく復学するには、次の①から④の条件を満たしている必要があります。

- ① 1年次の第1学期および3年次の第2・3学期は中等部で学習すること。
- ② 海外渡航期間が1年以内であること。
(渡航開始時期によっては4学期間)
- ③ 復学時に試験を受けてその学年に相当する学力が認定されること。
- ④ 渡航期間中は日本の中学校と同等の学校に就学すること。

Q11. 留学はできますか？

- A. 本校では、生徒単独での学期中の留学は認めていません。
なお、義塾派遣留学制度については別に定めます。

授業について

Q1. 各教科で使用している教科書や教材を教えてください。

- A. 今年度の1年生では、次の教科書・教材を使用しています。この他、プリント教材を必要に応じて使用します。

国語：中学国語1（教育出版）

国語便覧（浜島書店）

新編 新しい書写（東京書籍）

社会：新編 新しい社会 地理（東京書籍）

新編 新しい社会 歴史（東京書籍）

中学校社会科地図（帝国書院）

資料カラー歴史（浜島書店）

数学：中学校数学1（学校図書）

新 A CLASS 中学数学問題集1（昇龍堂）

理科：未来へひろがるサイエンス1（啓林館）

最新理科便覧 東京都版（浜島書店）

音楽：中学音楽1（教育出版）

中学器楽（教育出版）

慶應歌集（慶應義塾大学応援指導部）

美術：美術1（光村図書）

技術：新 技術・家庭 技術分野（教育図書）

家庭 新 技術・家庭 家庭分野（教育図書）

保健：新・中学保健体育（学研）

体育 ステップアップ中学体育（大修館書店）

英語：NEW HORIZON 1（東京書籍）

新中学問題集（発展編）1年

（教育開発出版）

道徳：生き方から学ぶ（日本教科書）

Q2. プールはありますか？

また、水泳の授業はありますか？

- A. 6月中旬～9月下旬にかけて水泳の授業を行います。1年生では25m、2・3年生は50m泳ぐことができるよう指導します。

Q3. 進度別・能力別授業はありますか？

- A. 英語では、週1時間、習熟度を考慮した少人数クラス編成で授業を行っています。

Q4. コンピュータを使った授業には、どのようなものがありますか？

- A. 1・2年次の「情報」の授業では、ネットワーク利用上のルールやマナーをはじめ、基本的なソフトウェアの利用についても指導します。他の教科でも、調べものやレポートの作成など、必要に応じて取り入れています。

また、2021年度入学生よりタブレット（iPad）を1人1台導入し、各授業やHR等で活用しています。

Q5. 家庭教師についたり塾に通う必要はありますか？

- A. 生徒の学力には個人差がありますので一概にはいえませんが、予習・復習をしっかり行い、中等部の授業をきちんと聴いてノートをとっていれば、特に必要ありません。

Q6. 授業について行くのが難しい生徒はどのように指導していますか？

- A. 担当教員が個別の指導を行って課題を出したり、少人数の補習を行ったりして補います。また、教員室は生徒が自由に入室できますので、質問をしに来る生徒がたくさんいます。

Q7. 英語検定・漢字検定は学校で受検できますか？

- A. 英検・漢検とも学校では受検できません。個人で申し込みのうえ、学外で受検して下さい。なお、英語の授業では、TOEFL Primary テストを全員受験し、自分の英語力をスコアで客観的に把握してもらっています。

進学について

Q 1. 高校への進学について教えてください。

- A. 中等部に学ぶ生徒は、特別に進学のための試験を受けることなく、中等部長の推薦により、塾内の高校に進学できます。ただし、普段の学習や素行の面において、特に不良の場合には、進級・進学に影響することもあります。

※横浜初等部を卒業した児童が湘南藤沢中等部に入学し、さらに湘南藤沢中等部を卒業した生徒が湘南藤沢高等部に入学するため、2021年度の本校入学生より、湘南藤沢高等部への進学はできなくなりました。

Q 2. 中等部を卒業して塾内高校に入学する際、入学金を支払う必要はありますか？

- A. 塾内のどの高校に進学しても、改めて入学金を納めていただいています。

Q 3. 中等部を卒業して慶應義塾ニューヨーク学院高等部へ進学する際、条件や注意すべきことはありますか？

- A. 特に条件はありません。ニューヨーク学院の教員は70%がアメリカ人で、英語で授業を行い、日本語は通じません。その授業についていくためには、かなりの英語力が必要です。また、生徒の90%は寮で生活し、その他の生徒は近隣から通学しています。なお、ニューヨーク学院は9月入学になります。

Q 4. 慶應義塾大学の学部選択について教えてください。

- A. 慶應義塾大学には、文学部・経済学部・法学部・商学部・医学部・理工学部・総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部・薬学部がありますが、中等部在学中から、進学する学部を決めてしまうことは必ずしも好ましいことではありません。学科においてもかたよらない知識を得、幅広い経験を積むことが大切であると考えています。いろいろな学問の基礎を学び、様々な体験を重ねることが、自分の可能性の発見につながるのです。なお、昨年度の各高校からの進学状況は、次の表の通りです。

	日吉	志木	女子	藤沢	N Y
文	27	4	16	7	1
経 済	210	80	56	70	14
法	224	74	54	64	14
商	95	18	25	23	10
医	22	7	5	7	2
理 工	109	41	20	31	4
総 合	19	2	3	7	10
環 境	19	1	9	15	6
看 護	0	0	1	3	0
薬	1	0	1	9	0
その他	9	1	4	6	2

高校ごとに、学部への推薦枠を設けていますが、以前から医学部、近年は法学部も進学希望者数が推薦枠を超えています。この場合、成績により希望の学部に進学できないこともあります。

そ の 他

Q 1. 構内を見学することはできますか？

- A. 平常は構内の見学はできません。11月8日(土)12:00～16:30、9日(日)9:00～16:00に開催される展覧会の際にご覧下さい。なお、10月2日(木)に日吉キャンパス陸上競技場で行われる運動会(雨天時は10月3日(金)に順延の可能性あり)も公開しています。

※上記の公開行事については、感染症流行など社会的な状況で、変更や中止になる可能性があります。

Q 2. PTA 活動はありますか？

- A. PTA 組織はありません。年に4・5回行われる保護者会では、成績や生活など、担任教員と保護者との懇談の機会が設けられています。また、個人的な面談はいつでも受け付けています。

Q 3. 奨学金制度はありますか？

- A. 「小泉信三記念高等学校以下一貫教育校奨学金」(授業料の全額または半額)、「2000年記念教育基金奨学金」(金額は必要に応じて決定)、「中等部同窓会ひまわり奨学金」(原則、前期授業料および教育充実費の合計)があります。申請資格は、(1)経済的事情により学業の継続が困難となった者、(2)成績・品行ともに優れ健康である者、となっています。

中 等 部 記 念 の 歌

※中等部創立記念の歌は、作詞・作曲共にその当時の在校生の手によるものです。

創立二十周年記念

風 が 光 が

作詞 大槻 茂彦（19回生）
作曲 大迫 直樹（19回生）

一 のびのび遊ぶ ぼくたちに

風がやさしく 吹いてきて

「ゆたかになろう」とささやいた

そつだ ぼくたち胸はって

こころゆたかに のびるんだ

二 あかるく集う ぼくたちに

光がやさしく さしかけて

「ほこりをもとう」とささやいた

そつだ ぼくたち胸はって

ほこりをもって すすむんだ

三 楽しく学ぶ ぼくたちに

ペンのしるしが ほえんで

「道は遠い」とささやいた

やるぞ ぼくたち胸はって

きつと進むぞ この道を

創立三十周年記念

みんなの30年

作詞 原 美津穂（29回生）
作曲 喜多村めぐみ（30回生）

一 朝 さわやかな朝

青い空にこだまする

さわやかな声

みんなが笑ってる

わたしも笑ってる

二 歌 明るい歌

白い校舎にこだまする

明るい声

みんなが歌ってる

わたしも歌ってる

三 夢 みんなの夢

若い心にこだまする

希望の声

みんなが夢みてる

わたしも夢みてる

創立五十周年記念

時のかけ橋

作詞 松村 理恵（49回生）
作曲 酒井 基成（51回生）

一 いま 握りしめた手と手は

夢を創った人からつながる

受け継いできた Knowledge

燃える思いは Energy

守り続けた Independence

二 自分を語ろう

いつの時代も Opinion

いま 固く結んだ心は

未来を拓く人へとつながる

生命すべてに Kindness

どんな場面も Elegance

磨き続ける Intelligence

扉開く Originality

世界を創ろう

創立七十五周年記念

未来への道

作詞 佐藤 駿太（74回生）
作曲 和田 大洋（74回生）

一 新しい扉 自らの手で開こう

先輩からの教えを胸に

自分で創り出す道

中庭のバレーボールの音

あふれる笑顔

二 輝く未来 自らの手で築こう

先人からの伝統を胸に

自分で歩き出す道

光るペンマークに通ずる

誇りと気品

三 明るい学舎 仲間と語り過ごした

みんなで大切な時間を胸に

みんなでつき進む道

切磋琢磨した校友会

深まった絆

翔びたとう 世界へと



2026年度 慶應義塾中等部 学校説明会資料

2025年 9 月 1 日発行

発 行 所

慶應義塾中等部

東京都港区三田 2 丁目17番10号

03-5427-1677

<https://www.kgc.keio.ac.jp>

印 刷 所

(有)梅沢印刷所

東京都港区三田 2 丁目15番45号

